

宇部市学校施設長寿命化計画

【改定版】

令和3年3月

(令和8年3月改定)

宇部市

目次

| | |
|-----------------------------------------------|---------------|
| 第1章 計画の背景と目的 | - 1 - |
| 1—1. 学校施設長寿命化計画について | - 1 - |
| 1—2. 計画の位置付け | - 1 - |
| 1—3. 計画期間 | - 2 - |
| 1—4. 計画対象 | - 3 - |
| 1—5. 5年間の実績及び成果 | - 4 - |
| 第2章 上位関連計画の整理 | - 6 - |
| 2—1. 宇部市公共施設等総合管理計画(令和4年3月<令和5年3月一部改訂>) | - 6 - |
| 2—2. 宇部市教育大綱／第2期宇部市教育振興基本計画(令和4年3月) | - 8 - |
| 2—3. 宇部市立小中学校適正規模・適正配置計画(令和6年11月) | - 9 - |
| 第3章 学校施設の保有状況・活用状況等の実態 | - 10 - |
| 3—1. 学校施設の保有状況 | - 10 - |
| 3—2. 築年別整備状況 | - 16 - |
| 3—3. 今後の維持・更新にかかるコストシミュレーション(従来型) | - 17 - |
| 3—4. 児童生徒数の推移と今後の見込み | - 18 - |
| 第4章 学校施設の老朽化の実態 | - 22 - |
| 4—1. 老朽化状況の把握 | - 22 - |
| 4—2. 構造躯体の健全性の把握 | - 23 - |
| 4—3. 躯体以外の健全性の把握 | - 24 - |
| 第5章 学校施設に求められる機能の把握 | - 31 - |
| 5—1. 教職員等へのアンケート調査 | - 32 - |
| 5—2. 児童生徒へのアンケート調査 | - 34 - |
| 第6章 実態を踏まえた課題の整理 | - 37 - |
| 第7章 学校施設整備の基本的な方針 | - 38 - |
| 7—1. 学校施設の目指すべき姿 | - 38 - |
| 7—2. 計画の基本方針 | - 39 - |
| 7—3. 改修等の基本的な方針 | - 40 - |
| 7—4. 維持管理の基本的な方針 | - 43 - |

第8章 計画の策定..... - 45 -

- 8—1. 長寿命化対象施設(建物)の整理..... - 45 -
- 8—2. 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果..... - 47 -
- 8—3. 改修等の優先順位付け..... - 50 -
- 8—4. 今後5年間の実施計画..... - 51 -

第9章 計画の継続的運用..... - 57 -

- 9—1. 学校施設マネジメントに向けた検討フロー..... - 57 -
- 9—2. 推進体制等の整備..... - 58 -
- 9—3. フォローアップ..... - 58 -

用語解説..... - 59 -

第1章 計画の背景と目的

1-1. 学校施設長寿命化計画について

学校施設は、未来を担う子どもたちが集い、生き生きと学び、生活する場であるとともに、地域住民の生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場として、また、非常災害時には避難所としての機能を発揮する重要な施設です。

本市の学校施設は築40年以上経過したものが半数近くを占めており、多くの施設において老朽化が進んでいます。今後10～20年間に、一斉に更新時期を迎えることから、維持・更新等に多額の費用を要することが想定されます。また、社会情勢の変化に伴い、教育内容の多様化、防災機能の向上など学校施設に対するニーズが大きく変化しており、これらに対応した学校施設の整備が必要となります。

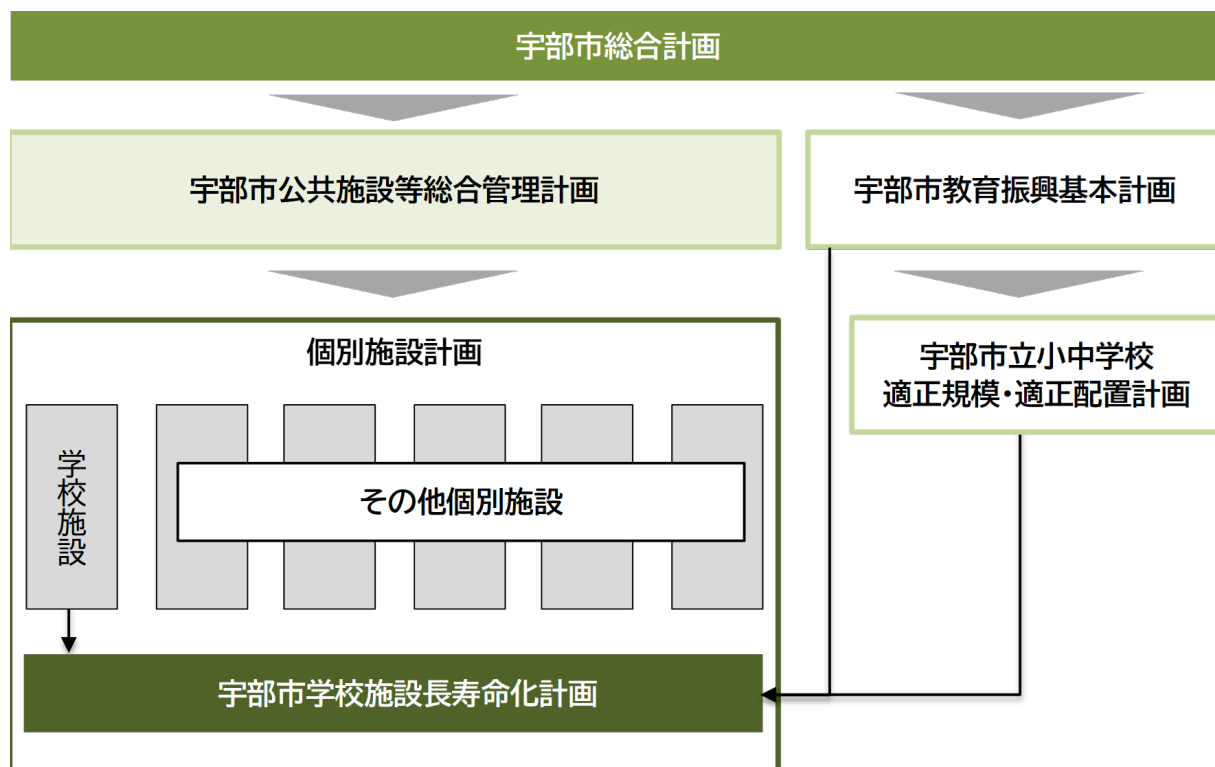
そのため、中長期的な維持・更新等に係るコストの縮減及び平準化を図りながら、学校施設に求められる機能・性能を確保するため、令和3年3月に「宇部市学校施設長寿命化計画」（以下「本計画」という。）を策定しました。

このたび、計画策定から5年を経過することから、学校施設の維持管理・整備状況や、学校施設を取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、本計画の一部を見直し、改定するものです。

1-2. 計画の位置付け

本計画は「宇部市公共施設等総合管理計画」を上位計画とし、学校施設の具体的な対応方針を示す個別施設計画に位置付けられます。

なお、本計画の実施にあたっては、「宇部市立小中学校適正規模・適正配置計画」との整合も図ります。



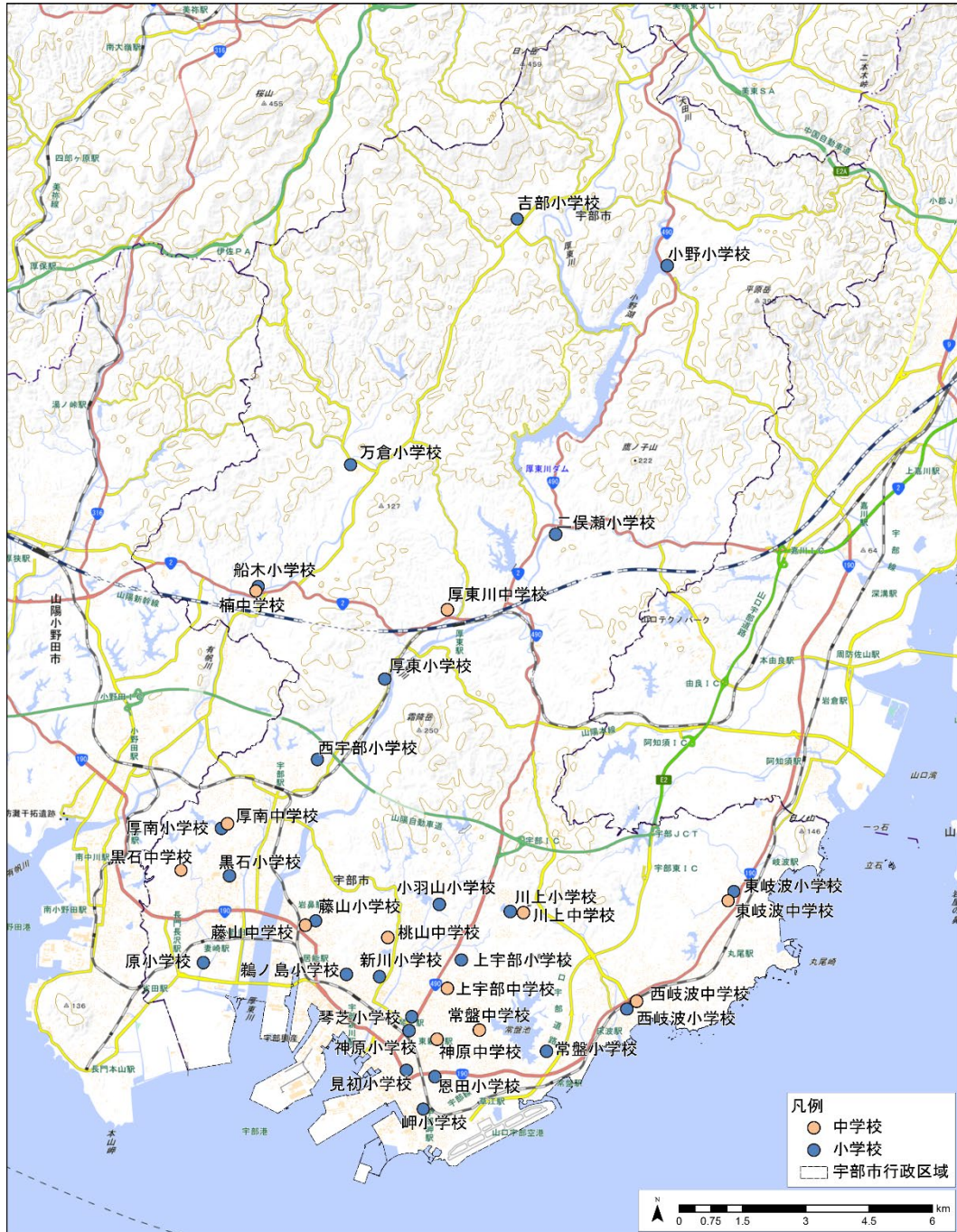
1-3. 計画期間

本計画の計画期間は、「宇部市公共施設等総合管理計画」との整合性を図るため、令和3年度から令和27年度までの25年間とします。ただし、社会情勢の変化等に対応するため、概ね5年ごとに見直しを実施することとし、このたびの改定は、計画策定後、第1回目の改定となります。



1-4. 計画対象

本計画の対象とする学校は、宇部市立小学校 24 校、宇部市立中学校 12 校の計 36 校で、対象とする学校施設は給食関連施設を除く校舎や屋内運動場等のハコモノ施設（プール等の工作物は計画対象外、給食関連施設はその他個別施設計画に位置付け）とします。



▲対象学校位置図

1-5. 5年間の実績及び成果

本計画の実施に当たっては、蛍光灯の製造停止決定などの社会情勢の変化や施設の劣化状況等を踏まえ、事業内容や優先度の見直しを行いながら取組を進めており、令和3年度から令和7年度までの5年間の実績は、以下のとおりです。

その結果、体育館5棟の改築により、学校施設の耐震化率は100%となり、耐震化が完了するとともに、劣化した外壁や防水等の改修を実施することにより、第4章で後述するとおり、建物の健全性が向上しています。

また、児童生徒数に対して必要なトイレの洋式化や学校が必要とする特別教室への空調設備設置を完了するとともに、新たに照明器具のLED化を前倒しして実施することで、機能向上も図ったところです。

▼5年間（令和3年度～令和7年度）の実績

| 事業 | 学校名 | 建物名(棟番号) |
|---------------|---------------|-------------------------------------------------------------|
| 改築 (5棟) | 岬小学校 | 屋内運動場(13) |
| | 見初小学校 | 屋内運動場(30) |
| | 神原小学校 | 屋内運動場(16) |
| | 新川小学校 | 屋内運動場(15) |
| | 神原中学校 | 屋内運動場(31) |
| 外壁改修 (29棟) | 東岐波小学校 | 普通教室棟(12)、特別教室棟(15)、 普通・特別教室棟(20-1、20-2)、管理・普通・特別教室棟(21) |
| | 恩田小学校 | 教室棟(18-1、18-2)、教室特別教室棟(19) |
| | 上宇部小学校 | 屋内運動場(31) |
| | 藤山小学校 | 普通・特別教室棟(16) |
| | 原小学校 | 教室棟(15) |
| | 厚東小学校 | 屋内運動場(16)、教室棟(17)、管理棟(23)、多目的スペース(24) |
| | 常盤小学校 | 屋内運動場(3) |
| | 西宇部小学校 | 屋内運動場(4) |
| | 小羽山小学校 | 教室棟(2-1、2-2)、屋内運動場(3)教室棟(10、11)、 |
| | 川上小学校 | 教室特別教室棟(1-1) |
| | 万倉小学校 | 管理・普通・特別教室棟(18) |
| | 常盤中学校 | 教室特別教室棟(26、28) |
| | 川上中学校 | 教室特別教室棟(1) |
| | 黒石中学校 | 管理教室特別教室棟(1) |
| 楠中学校 | 管理普通特別教室棟(12) | |
| 防水改修 (36棟) | 東岐波小学校 | 普通・特別教室棟(20-1、20-2)、管理・普通・特別教室棟(21) |
| | 恩田小学校 | 教室棟(18-1、18-2)、教室特別教室棟(19) |
| | 上宇部小学校 | 屋内運動場(31) |
| | 見初小学校 | 教室棟(24) |
| | 神原小学校 | 特別教室棟(4)、教室棟(14、15-1、15-2) |
| | 新川小学校 | 教室棟(4-1)、管理教室棟(4-2) |
| | 鵜ノ島小学校 | 管理特別教室棟(1) |
| | 原小学校 | 管理・教室棟(1) |
| | 厚東小学校 | 多目的スペース(24) |
| | 常盤小学校 | 教室棟(1-1、1-2)、屋内運動場(3) |
| | 小羽山小学校 | 教室棟(2-1、2-2)、屋内運動場(3) |
| | 西宇部小学校 | 教室棟(13) |
| | 川上小学校 | 教室特別教室棟(1-1) |
| | 万倉小学校 | 管理・普通・特別教室棟(18) |
| | 常盤中学校 | 普通教室棟(2)、管理・特別教室棟(3) |
| | 桃山中学校 | 教室棟(10)、管理・特別教室棟(13) |
| | 川上中学校 | 管理特別教室棟(3-1)、特別教室棟(4)、屋内運動場(5-1、5-2、5-3) |
| 楠中学校 | 管理普通特別教室棟(12) | |

| 事業 | 学校名 | 建物名(棟番号) |
|----------------------------|-----------------|---------------------------------------|
| 設備改修 (12 棟) | 神原小学校 | 管理特別教室棟(3)、特別教室棟(4)、教室棟(14、15-1、15-2) |
| | 新川小学校 | 教室棟(4-1)、管理教室棟(4-2) |
| | 鵜ノ島小学校 | 管理特別教室棟(1)、教室棟(2、14-1、14-2) |
| | 原小学校 | 管理・教室棟(1) |
| 空調改修(更新) (3 棟) | 恩田小学校 | 普通教室棟(1-1、1-2)、管理室・特別教室棟(1-3) |
| 空調改修(新設) | 全小中学校 36 校 | 学校が必要とする特別教室への設置を完了 |
| 電気設備 (LED 改修) (12 校) | 上宇部小学校 | 校舎 |
| | 原小学校 | 校舎 |
| | 厚東小学校 | 屋内運動場 |
| | 常盤小学校 | 校舎、屋内運動場 |
| | 西宇部小学校 | 校舎 |
| | 小羽山小学校 | 校舎 |
| | 万倉小学校 | 校舎 |
| | 西岐波中学校 | 校舎 |
| | 常盤中学校 | 校舎 |
| | 桃山中学校 | 校舎 |
| | 厚南中学校 | 校舎 |
| | 楠中学校 | 屋内運動場 |
| トイレ洋式化 | 岬小学校を除く小学校 23 校 | 令和 6 年度の想定児童数に対して必要なトイレの洋式化を完了 |
| | 楠中学校を除く中学校 11 校 | 令和 6 年度の想定生徒数に対して必要なトイレの洋式化を完了 |
| 多目的トイレ整備 (3 棟) | 上宇部小学校 | |
| | 厚東小学校 | |
| | 小羽山小学校 | |
| 5 年間の実施事業費※ | | 5,950 百万円 (計画 5,429 百万円) |

※令和 7 年度事業費は決算見込額による。

第2章 上位関連計画の整理

2-1. 宇部市公共施設等総合管理計画（令和4年3月〈令和5年3月一部改訂〉）

■公共施設マネジメント4原則

本市の公共施設マネジメントを推進するに当たり、下記の4原則を設定しています。

▼公共施設マネジメント4原則

| 原則 | 方針及び取組 | |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <原則1> 量を減らす | 人口減少の進行や厳しい財政状況を踏まえ、必要なサービスを提供できる施設の量を確保した上で、総量（総延床面積）の縮減に努めます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新規整備の抑制 ・複合化、統廃合、廃止による縮減 ・更新時の減築 |
| <原則2> 大切に使う | 定期的な点検・診断と計画的な予防保全により施設の長寿命化を図り、長期にわたる安心・安全なサービスの提供に努めるとともに、財政負担の軽減と平準化を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な施設点検、修繕の実施 ・計画的な予防保全の実施 ・耐震化の積極的な推進 |
| <原則3> かしく活かす | 市民や民間事業者との共創による効率的・効果的な管理運営と遊休資産の有効活用などにより、無駄のない施設利用を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民、民間事業者との共創の推進 ・民間事業者の専門的なノウハウの活用 ・施設の有効的活用 |
| <原則4> 将来に備える | 利用者ニーズの多様化や環境問題、施設整備費の増大など様々な課題に対応するため、将来を見据えたマネジメントを実施します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「造る」から「守る」への政策転換 ・将来に備えた施設整備財源の確保 ・創意工夫による維持管理コストの縮減 ・ユニバーサルデザインに配慮した施設整備 |

■ハコモノ施設の長寿命化に向けた取組

ハコモノ施設の長寿命化に向けた考え方として、以下の方向性が示されています。

▼長寿命化の考え方

| 構造種別 | 築年数 | 長寿命化方法 | 目標耐用年数 |
|--------|--------|--------|--------|
| RC造・S造 | 築45年以下 | 大規模改修 | 75年 |

【長寿命化に向けた大規模改修の考え方】

- ・築年数が45年以下の建物を対象
- ・改修費用は、再建築費用の4割を想定
- ・具体的な改修内容等は、築45年経過時に施設の劣化状況等から総合的に判断

▼上記以外の建物に係る維持管理の考え方

| 構造種別 | 築年数 | 維持管理方法 | 想定耐用年数 |
|--------|--------|--------|--------|
| RC造・S造 | 築46年以上 | 日常的補修 | 50年 |
| CB造・W造 | 全て | 日常的補修 | 法定耐用年数 |

※RC造：鉄筋コンクリート造、S造：鉄骨造、CB造：コンクリートブロック造、W造：木造

■学校施設の今後の方向性

学校施設（給食関連施設を除く）の今後の方向性について、以下のとおり示されています。

▼学校施設に関する今後の方向性

■「宇部市学校施設長寿命化計画」の着実な実行

○安心・安全で快適な学校施設の整備の推進

- ・児童生徒や教職員が安心・安全に学校生活を送れるよう、建物の安全性の確保を図るとともに、多様な学習形態の変化に対応した快適で利用しやすい環境の整備を推進するとともに、地域の防災拠点として、安心・安全な学校施設の整備を推進します。

○長寿命化及び「予防保全」型管理による計画的な維持管理の推進

- ・建物の機能や性能を向上させる長寿命化改修を計画的に実施するとともに、予防保全型の施設管理への転換を図り、計画的な学校施設の整備及び維持管理を推進します。

○地域連携の核となる学校施設整備の推進

- ・地域連携の核となる学校施設を目指し、市民交流施設や学童保育施設との複合化を推進します。

○効率的・効果的な施設マネジメントの推進

- ・将来の人口動態等を踏まえ、必要な機能、設備の把握に努めるとともに、民間資金やノウハウを活用する等の民間活力の導入により、最適な施設マネジメントを推進します。

○学校施設規模の適正化の推進

- ・最適な教育環境を確保するため、改築時等には、児童生徒数に合わせた学校施設の規模の適正化を推進します。

■環境への適応

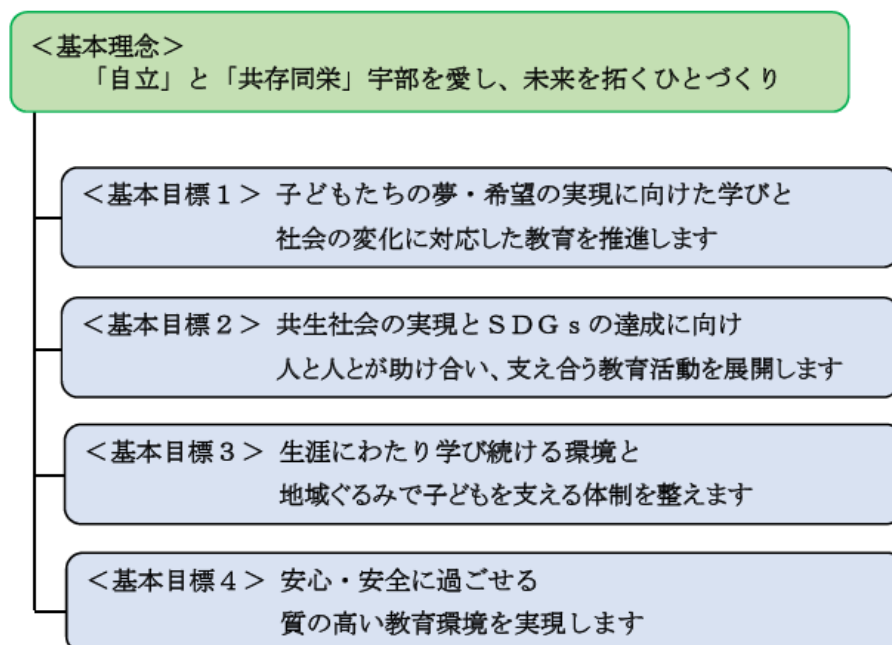
○脱炭素化

- ・「宇部市地球温暖化対策実行計画」に基づき、施設の更新や改修を行う際には、再生可能エネルギー設備や高効率照明の導入などを検討し、脱炭素化を進めます。

2-2. 宇部市教育大綱／第2期宇部市教育振興基本計画（令和4年3月）

■基本理念と基本目標

本市の教育がめざす基本的な方向や今後推進すべき具体的施策を推進するに当たり、下記の基本理念及び基本目標を設定しています。



■本計画における学校施設整備の位置づけ

基本目標4では、学校施設は社会教育施設とともに、快適で安心・安全な施設であることが重要であり、その安心・安全が、基本目標1、基本目標2、基本目標3を実現し、基本理念を達成する支えとなることが示されています。

そのためには、安心・安全に向けた改修等のハード対策が必要であることから、「小中学校施設長寿命化事業」を重点的取組に位置づけ、計画的な学校施設の整備を進めることとしています。

2-3. 宇部市立小中学校適正規模・適正配置計画（令和6年11月）

■学校のあるべき姿と理想形

学校の適正規模・適正配置を進めるに当たり、学校のあるべき姿とその理想形が下記のとおり示されています。

▼学校のあるべき姿と理想形

【あるべき姿】

児童生徒が、多様な考え方に触れ、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていける集団規模と、安心・安全な教育環境のもとで、地域と連携を図りながら、義務教育9年間を見通したつながりのある教育を提供することにより、児童生徒の確かな学び（健やかな成長）を保障できる学校

【あるべき姿の理想形】

児童生徒の社会性を育むことが出来る集団規模を有し、校区の中心に位置する同一敷地内に小中学校がある義務教育学校

■あるべき姿の実現に向けた取組

学校のあるべき姿の実現に向けて、下記の取組の方向性が示されています。

▼あるべき姿の実現に向けた取組

①小中一貫教育の推進

小中一貫教育をより一層推進していくため、全市的に中学校の通学区域を見直し、進学先が分かれる小学校の解消を図るとともに、学校選択制については将来的に廃止を進める。

②望ましい学校規模の確保

通学距離など、児童生徒の就学環境を踏まえながら、社会性を育むことができる一定の集団規模を確保するための基準（適正規模・適正配置基準）を定めて、通学区域の見直しや適正配置を進める。

③学校施設の整備

学校施設の更新（建替え）には多額の費用を要することから、将来的な児童生徒数を見据えた計画的な整備を進める必要があるため、更新時期を踏まえた、学校統合を進める。

具体的な取組として、老朽化した校舎の建替えに合わせて、学校の適正配置を進める場合には、施設一体型小中一貫校または義務教育学校の設置を目指す。

■検討対象校

現計画（令和6年度～令和15年度）では、適正規模・適正配置基準を踏まえ、下記の学校が適正配置の検討対象校になっています。

▼適正配置の検討対象校

| 地域区分 | 検討対象校 |
|-------|--------------------------------|
| 市街地地域 | 岬小学校、見初小学校、神原小学校、鶯ノ島小学校 |
| 北部地域 | 厚東小学校、二俣瀬小学校、小野小学校、万倉小学校、吉部小学校 |

第3章 学校施設の保有状況・活用状況等の実態

3—1. 学校施設の保有状況

(1) 学校施設の状況

本市の学校施設の延床面積は、221,436 m²で、そのうち小学校が140,126 m²、中学校が81,310 m²となっています。いずれも計画策定時（令和2年5月1日時点）とほぼ同じ面積を保有しています。

令和7年5月1日時点

| 名称 | 延床面積 (m ²) | 児童数(人) | | | 学級数(学級) | | | |
|-------|---------------------------|----------|------------|-------|----------|------------|-----|----|
| | | 普通 学級 | 特別支援 学級 | 計 | 普通 学級 | 特別支援 学級 | 計 | |
| 小学校 | 東岐波小学校 | 7,495 | 524 | 13 | 537 | 18 | 3 | 21 |
| | 西岐波小学校 | 7,794 | 582 | 30 | 612 | 20 | 5 | 25 |
| | 恩田小学校 | 7,982 | 719 | 31 | 750 | 24 | 5 | 29 |
| | 上宇部小学校 | 7,645 | 534 | 21 | 555 | 18 | 5 | 23 |
| | 岬小学校 | 5,145 | 111 | 6 | 117 | 6 | 3 | 9 |
| | 見初小学校 | 4,453 | 92 | 4 | 96 | 6 | 1 | 7 |
| | 琴芝小学校 | 6,458 | 262 | 16 | 278 | 12 | 3 | 15 |
| | 神原小学校 | 6,490 | 292 | 14 | 306 | 12 | 4 | 16 |
| | 新川小学校 | 5,978 | 377 | 15 | 392 | 14 | 3 | 17 |
| | 鵜ノ島小学校 | 5,559 | 89 | 8 | 97 | 6 | 2 | 8 |
| | 藤山小学校 | 6,674 | 478 | 14 | 492 | 18 | 3 | 21 |
| | 厚南小学校 | 7,398 | 556 | 25 | 581 | 19 | 4 | 23 |
| | 原小学校 | 5,741 | 248 | 7 | 255 | 11 | 2 | 13 |
| | 厚東小学校 | 3,029 | 75 | 3 | 78 | 6 | 1 | 7 |
| | 二俣瀬小学校 | 3,120 | 19 | 1 | 20 | 3 | 1 | 4 |
| | 小野小学校 | 3,993 | 23 | 0 | 23 | 3 | 0 | 3 |
| | 常盤小学校 | 6,282 | 387 | 15 | 402 | 14 | 3 | 17 |
| | 西宇部小学校 | 6,292 | 227 | 16 | 243 | 10 | 3 | 13 |
| | 小羽山小学校 | 7,053 | 223 | 10 | 233 | 10 | 2 | 12 |
| | 川上小学校 | 6,200 | 366 | 9 | 375 | 12 | 2 | 14 |
| 黒石小学校 | 7,174 | 625 | 34 | 659 | 20 | 6 | 26 | |
| 吉部小学校 | 3,289 | 20 | 0 | 20 | 3 | 0 | 3 | |
| 万倉小学校 | 3,549 | 28 | 1 | 29 | 3 | 1 | 4 | |
| 船木小学校 | 5,333 | 107 | 8 | 115 | 6 | 3 | 9 | |
| 小学校計 | 140,126 | 6,964 | 301 | 7,265 | 274 | 65 | 339 | |

※見初小学校屋内運動場（R8.2月完成 延床面積894 m²）は未計上。

令和7年5月1日時点

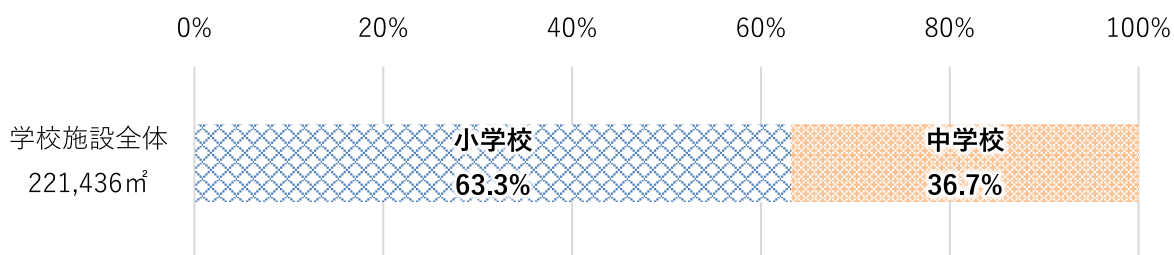
| 名称 | | 延床面積 (m ²) | 生徒数 (人) | | | 学級数 (学級) | | |
|------|--------|---------------------------|----------|------------|--------|----------|------------|-----|
| | | | 普通 学級 | 特別支援 学級 | 計 | 普通 学級 | 特別支援 学級 | 計 |
| 中学校 | 東岐波中学校 | 5,691 | 269 | 8 | 277 | 9 | 2 | 11 |
| | 西岐波中学校 | 7,437 | 459 | 11 | 470 | 14 | 4 | 18 |
| | 常盤中学校 | 9,782 | 472 | 17 | 489 | 15 | 3 | 18 |
| | 上宇部中学校 | 8,147 | 392 | 23 | 415 | 13 | 5 | 18 |
| | 神原中学校 | 6,343 | 165 | 6 | 171 | 6 | 2 | 8 |
| | 桃山中学校 | 7,637 | 301 | 18 | 319 | 10 | 3 | 13 |
| | 藤山中学校 | 6,716 | 299 | 17 | 316 | 10 | 3 | 13 |
| | 厚南中学校 | 8,278 | 406 | 6 | 412 | 13 | 1 | 14 |
| | 川上中学校 | 5,562 | 191 | 5 | 196 | 7 | 3 | 10 |
| | 黒石中学校 | 7,634 | 406 | 13 | 419 | 13 | 2 | 15 |
| | 厚東川中学校 | 3,814 | 50 | 4 | 54 | 3 | 1 | 4 |
| | 楠中学校 | 4,269 | 88 | 4 | 92 | 3 | 1 | 4 |
| 中学校計 | | 81,310 | 3,498 | 132 | 3,630 | 116 | 30 | 146 |
| 合計 | | 221,436 | 10,462 | 433 | 10,895 | 390 | 95 | 485 |

(2) 学校施設の特性

① 学校施設全体

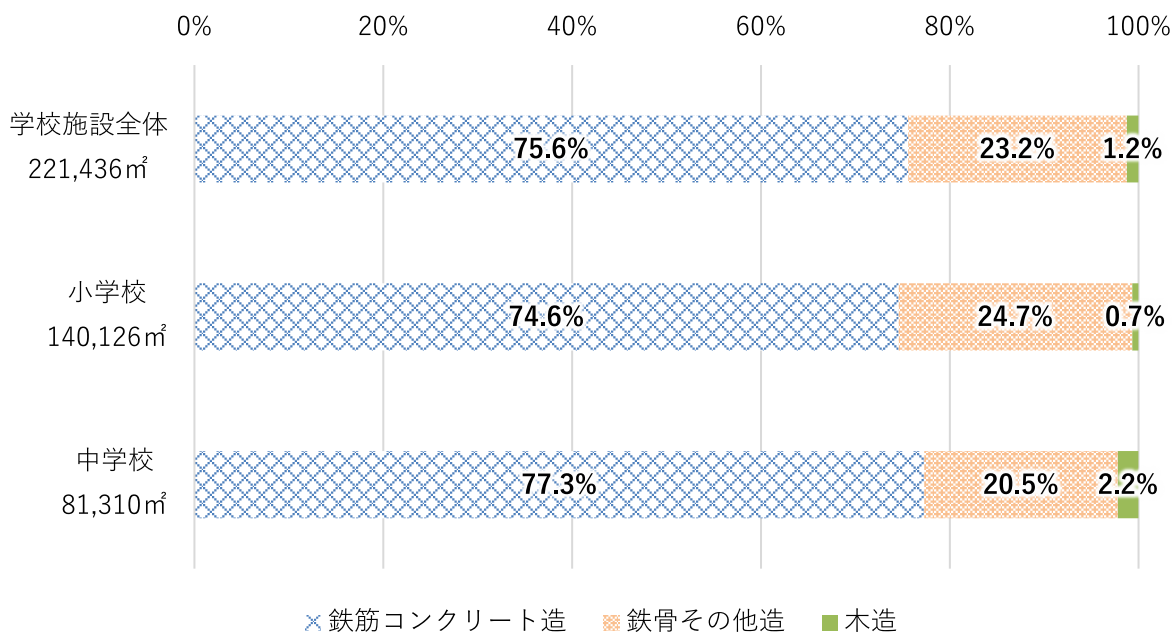
■ 学校種別

本市の学校施設の延床面積の割合は、「小学校」が63.3%、「中学校」が36.7%を占めています。



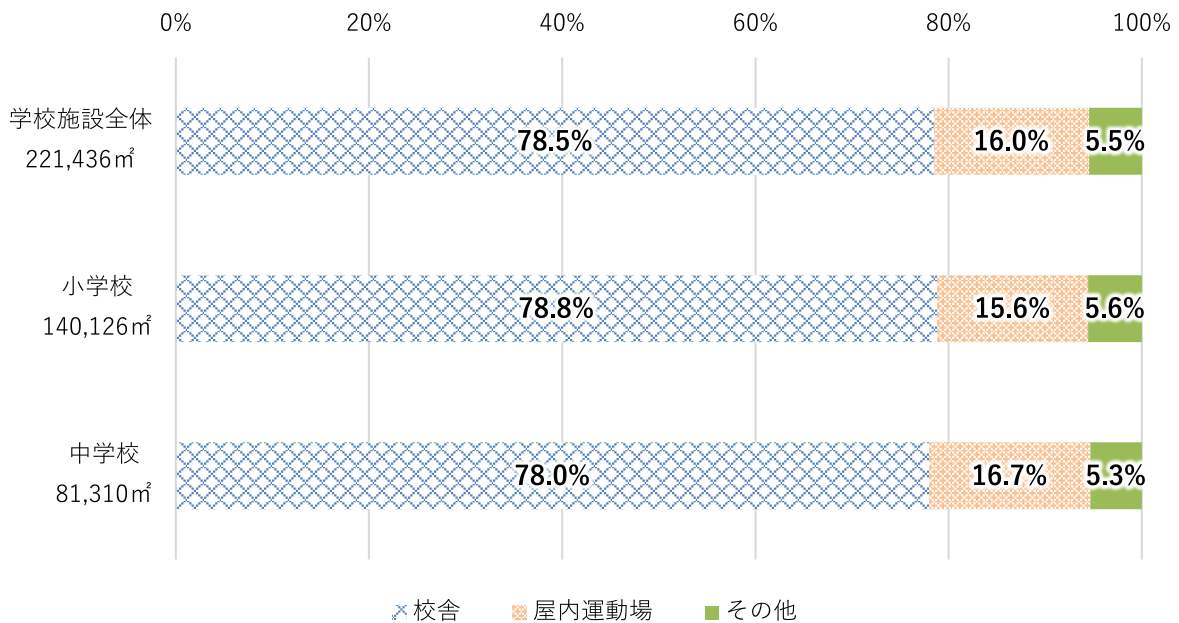
■ 構造別

構造別の延床面積の割合を見ると、「鉄筋コンクリート造」が75.6%を占めています。「木造」の施設も1.2%残っています。



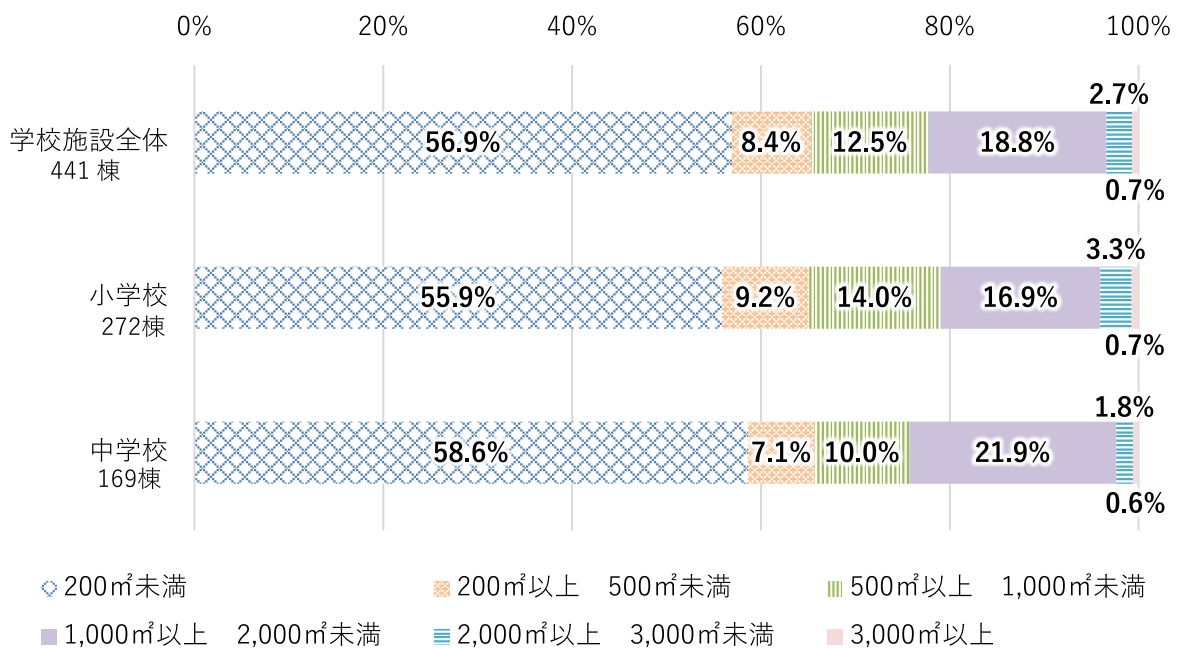
■用途別

用途別の延床面積の割合を見ると、学校施設の78.5%は「校舎」、16.0%は「屋内運動場」として使用されています。「その他」は倉庫や屋外トイレ等として使用されています。



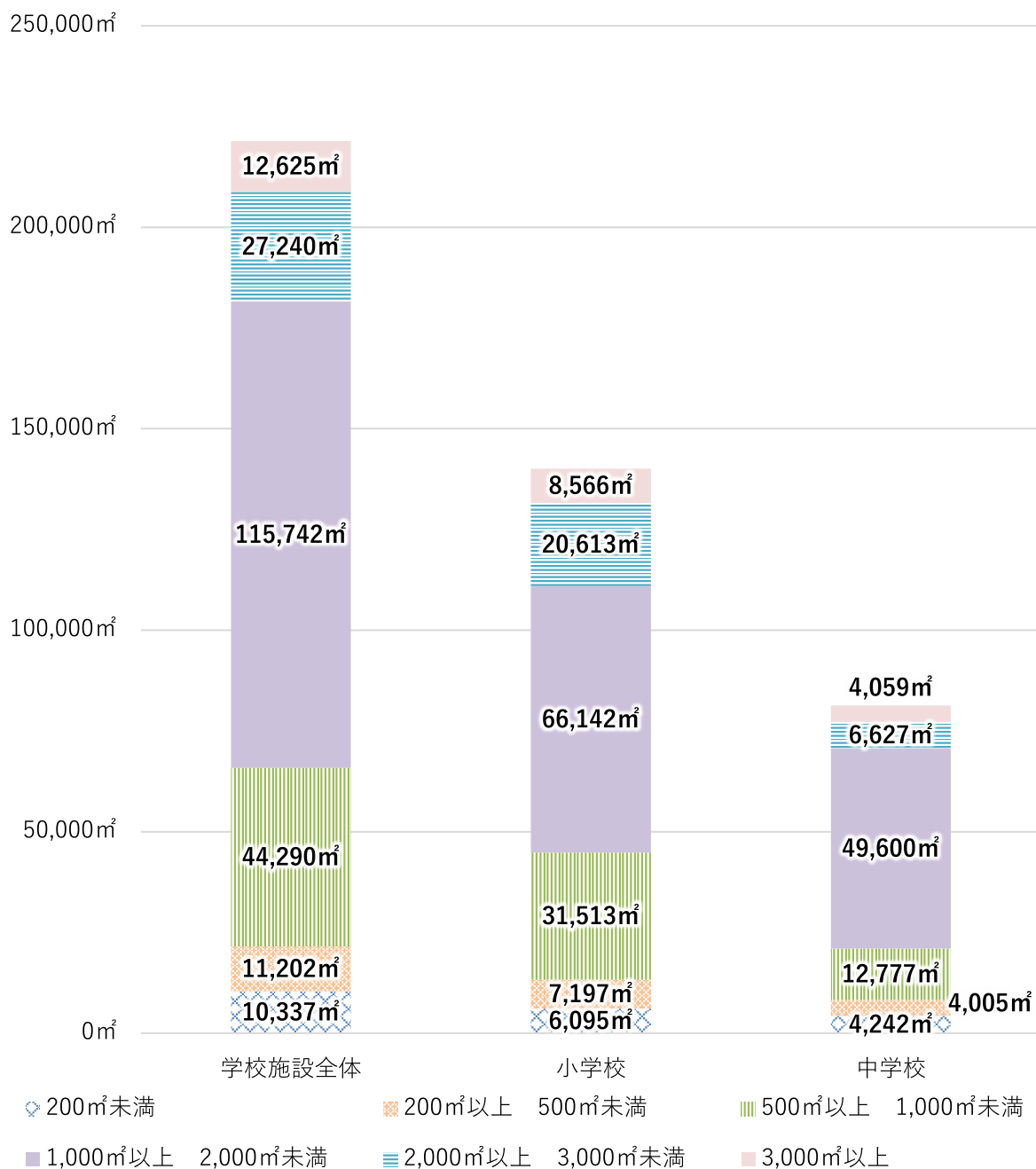
■延床面積区分別（施設数割合）

延床面積区分別の施設数を見ると、倉庫や屋外トイレ等として利用されている「200㎡未満」の施設が56.9%と最も多く、次いで、主に校舎として利用されている「1,000㎡以上 2,000㎡未満」の施設が18.8%となっています。



■延床面積区分別（延床面積）

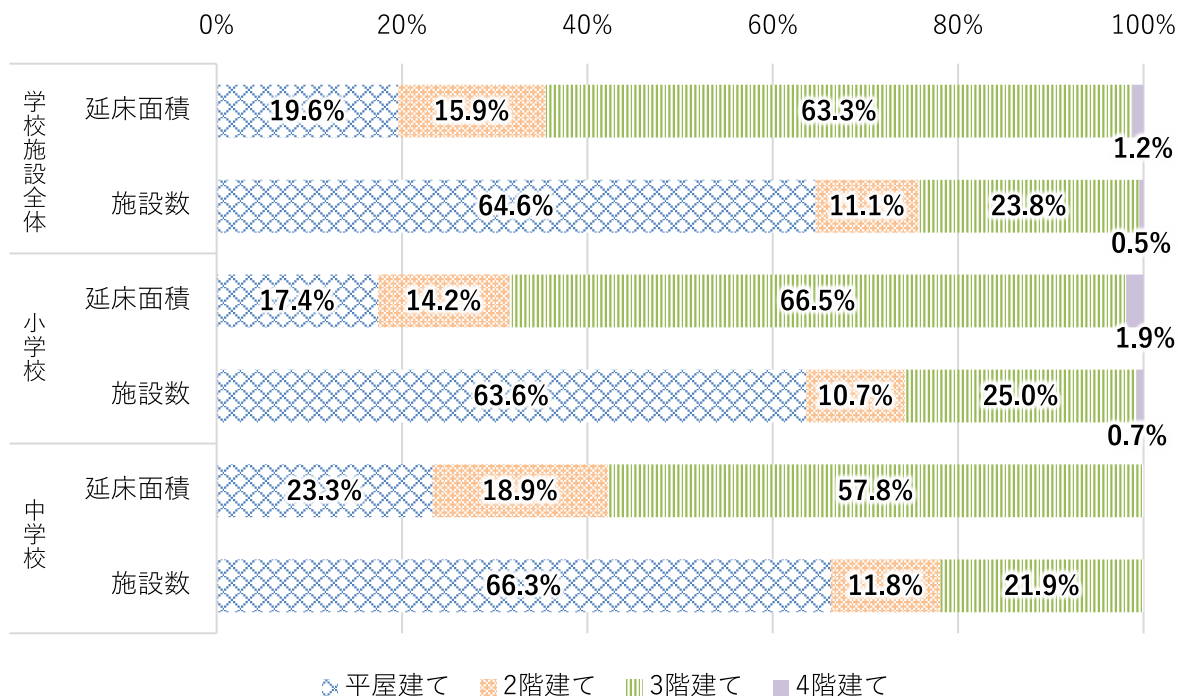
延床面積区分別の延床面積を見ると、学校施設全体、小学校、中学校に関わらず、主に校舎として利用されている「1,000㎡以上 2,000㎡未満」の施設の合計が最も高くなっています。



■階数別（延床面積・施設数の割合）

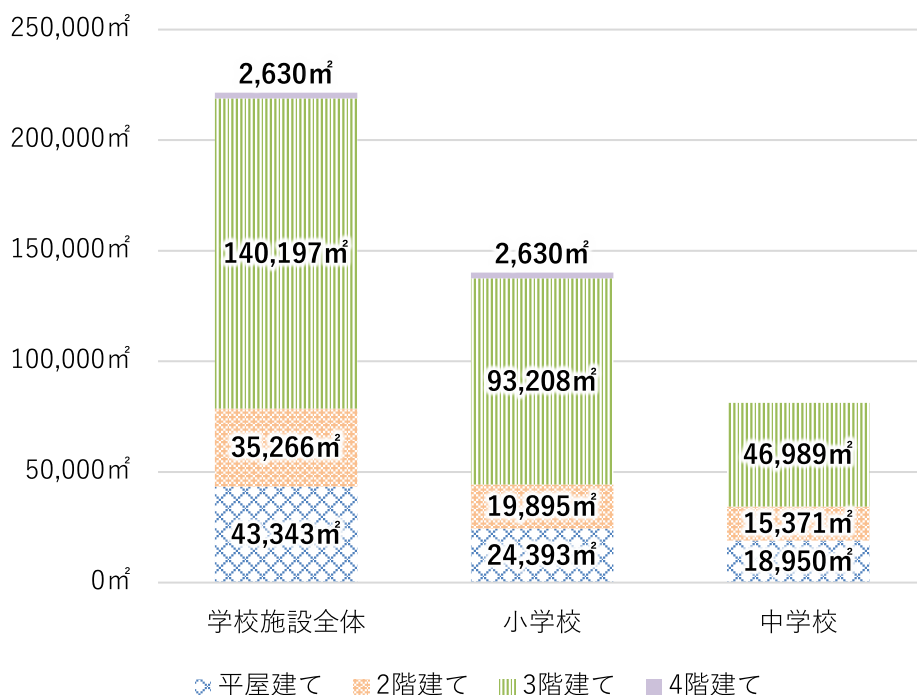
階数別の延床面積を見ると、学校施設全体及び小学校・中学校別の全てにおいて「3階建て」が最も多く、次いで「平屋建て」となっています。

階数別の施設数を見ると、学校施設全体及び小学校・中学校別の全てにおいて「平屋建て」が最も多く、次いで「3階建て」となっています。



■階数別（延床面積総数）

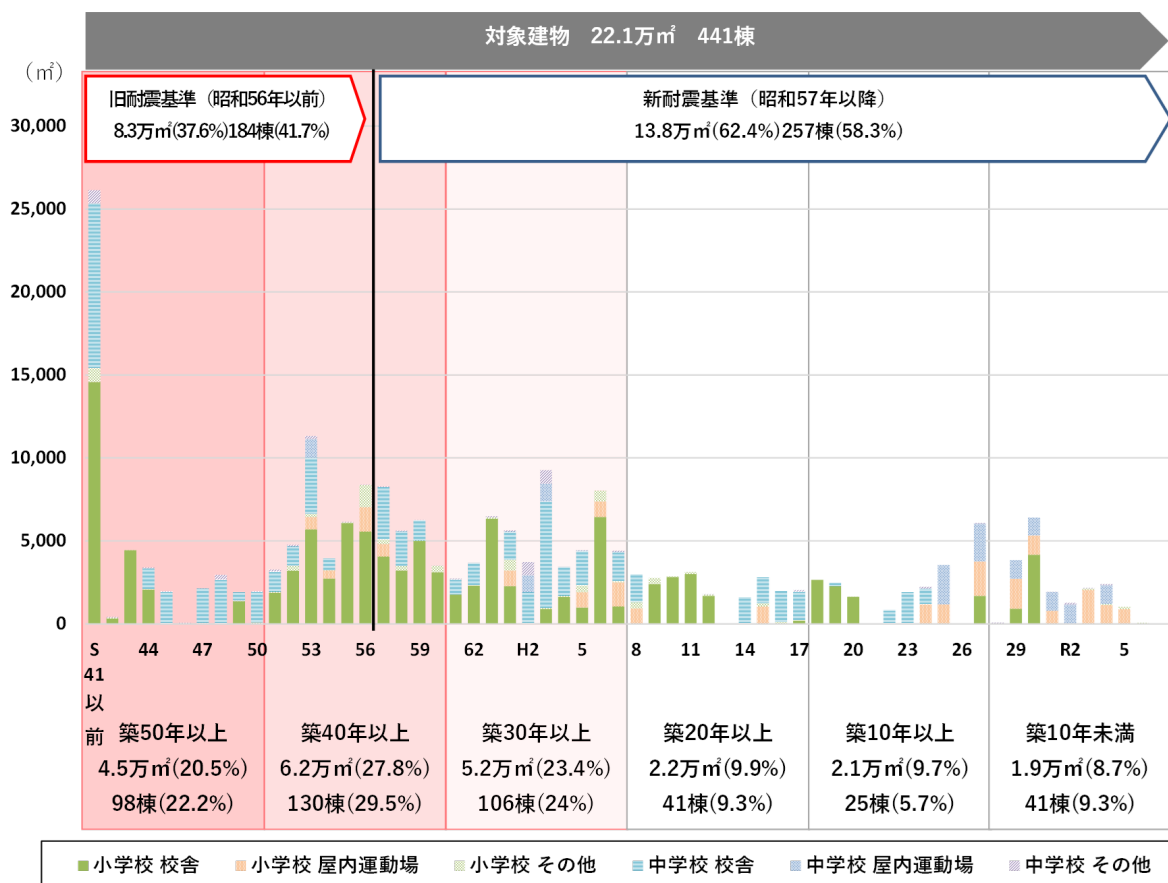
階数別の延床面積を見ると、学校施設全体及び小学校・中学校別の全てにおいて「3階建て」が最も多く、次いで「平屋建て」となっています。



3-2. 築年別整備状況

本市の学校施設は、築40年以上50年未満を経過した施設の延床面積が6.2万㎡で最も多く、学校施設全体の27.8%を占めています。また、新耐震基準施行前に建設された学校施設の延床面積は、8.3万㎡で学校施設全体の37.6%を占めています。

▼学校施設の築年別整備状況



※延床面積の割合は、万㎡単位に四捨五入する前の元数値により算出。

3-3. 今後の維持・更新にかかるコストシミュレーション（従来型）

築 60 年程度で改築を行う改築中心の従来型の整備手法で施設の維持・更新を行った場合のコストを算出します。

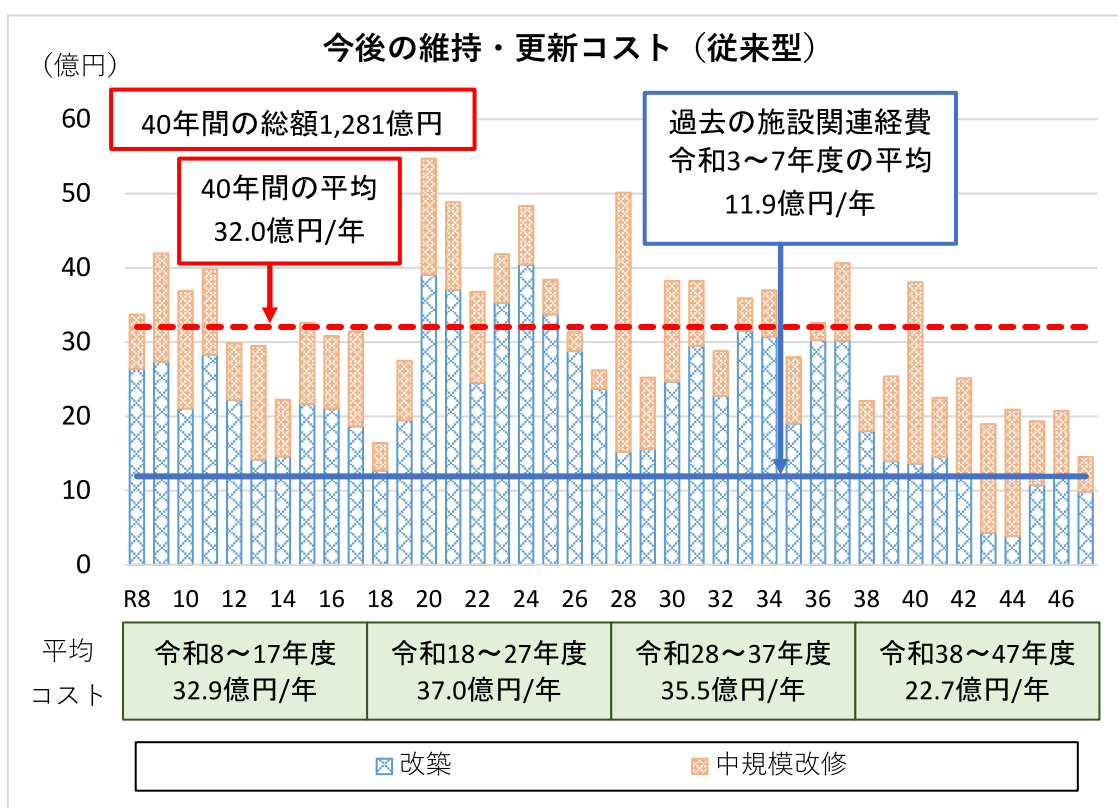
(1) コスト算出条件

- ・試算期間は令和 8 年度から令和 47 年度の 40 年間とし、現在と同面積で 20 年目に中規模改修、60 年目に改築を実施するものとします。
- ・改築は 2 年に工事費を均等配分し、中規模改修は単年度で工事費を計上するものとします。
- ・工事単価は、改築：485,000 円/m²（計画策定時：380,000 円/m²）、中規模改修：改築単価の 25% に設定します。

(2) 今後の維持・更新コスト

今後、従来型の改修や改築を続けた場合、40 年間のコストは、人件費や資材費の高騰等により総額 1,281 億円が見込まれ、年間の平均は 32.0 億円/年となり、これは過去 5 年間（令和 3 年度～令和 7 年度）の施設関連経費 11.9 億円/年に対し年間約 2.7 倍のコストとなります。

また、宇部市公共施設等総合管理計画において、市が計画期間（令和 4 年度～令和 27 年度）の 24 年間に維持可能と想定しているハコモノ施設の整備費、年平均 31.6 億円を上回っています。



参考：本計画策定時における令和 3 年度から令和 42 年度の 40 年間の維持・更新コスト
総額 925 億円 40 年間の平均 23.1 億円/年

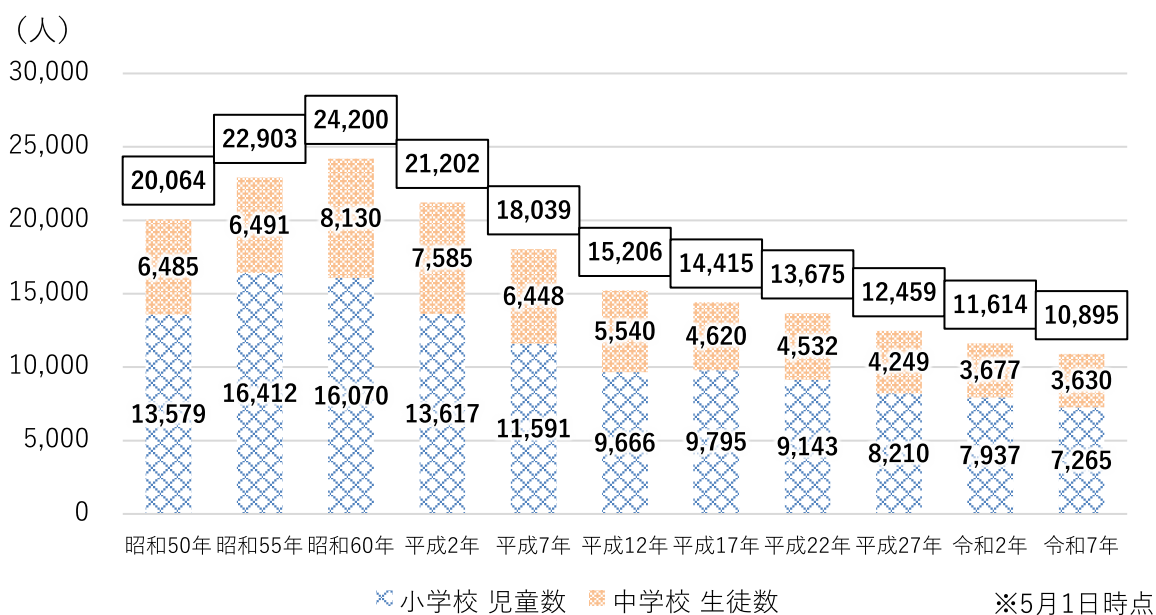
3-4. 児童生徒数の推移と今後の見込み

(1) 児童生徒数の推移

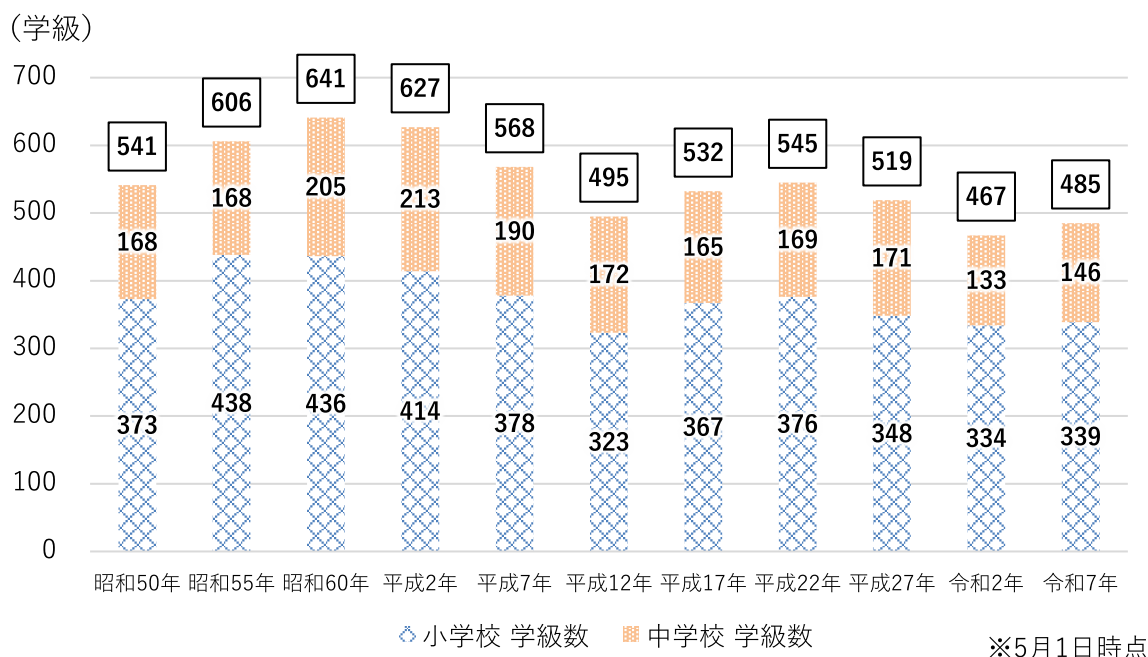
小学校の児童数は、昭和55年の16,412人をピークに減少に転じています。小学校の学級数を見ると、平成16年の旧楠町との合併による一時的な増加はありますが、昭和55年をピークに減少に転じています。

中学校の生徒数は、昭和60年の8,130人をピークに減少に転じています。中学校の学級数を見ると、平成2年をピークに減少傾向にあります。

▼児童生徒数の推移



▼学級数の推移

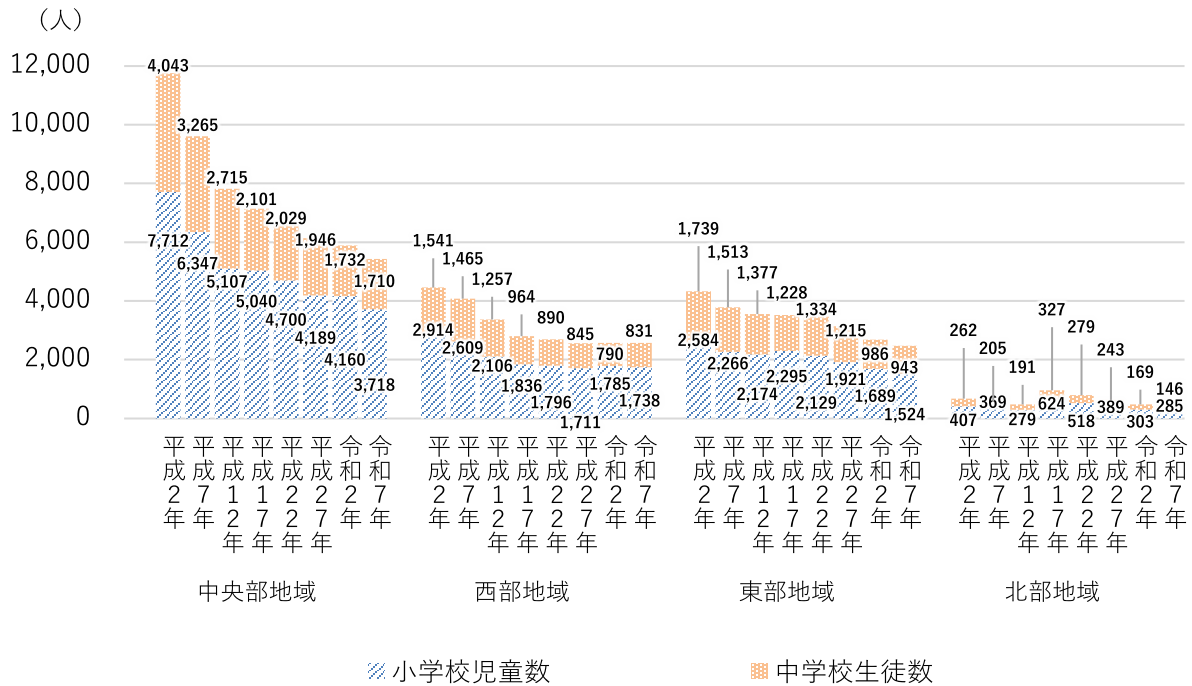


(2) 地域別の児童生徒数の推移

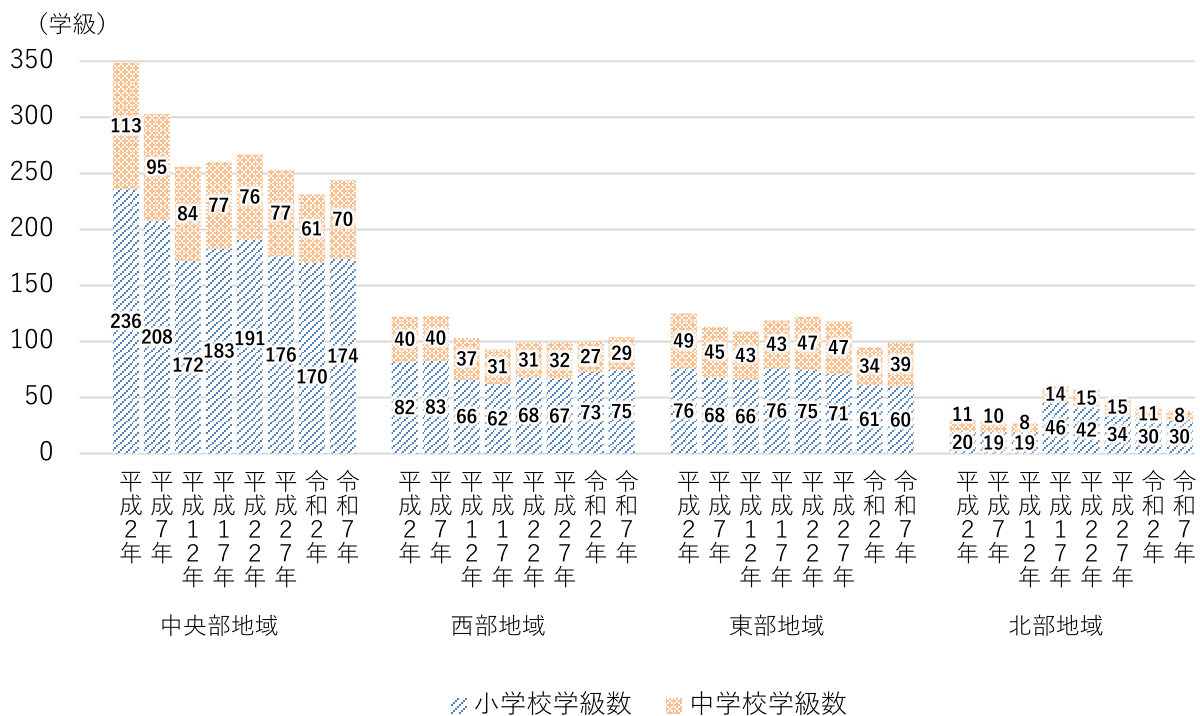
本市の都市計画マスタープランにおける地域区分を基に、地域別の児童生徒数の推移を算出しました。

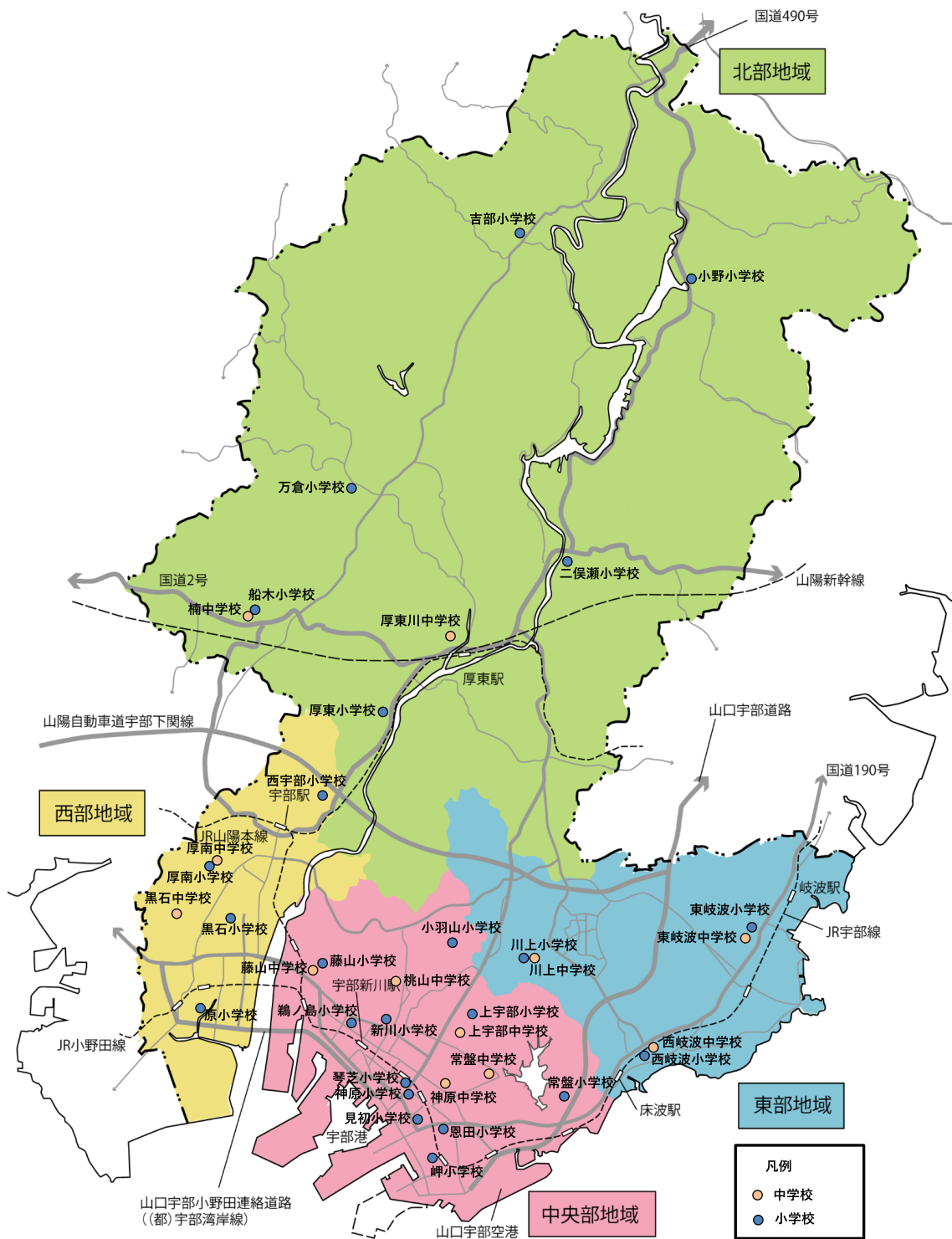
中央部地域における児童生徒数の減少が著しく、平成2年から令和7年の35年間で6,327人減少し、半数以下となっています。

▼地域別児童生徒数の推移



▼地域別学級数の推移





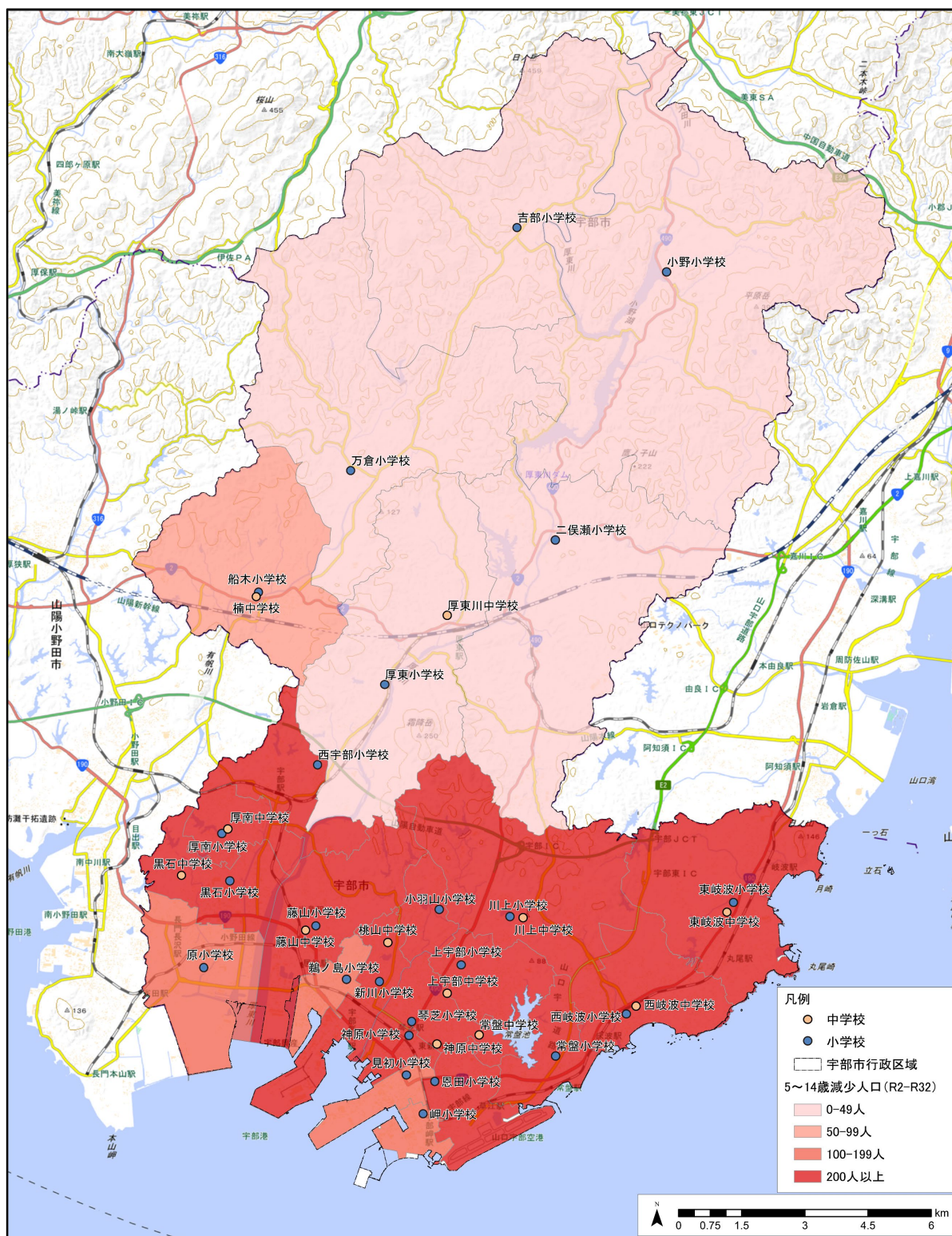
▲地域区分図

(宇部市都市計画マスタープランより抜粋)

(3) 小学校区別の将来推計

■5～14 歳人口の推計

国立社会保障・人口問題研究所の令和5年推計データを用いて、各小学校区の5～14歳人口を推計しました。推計の結果、令和32年には、全ての小学校区において5～14歳人口が減少するという結果となりました。



▲5～14 歳人口の増減 (R2 年～R32 年)

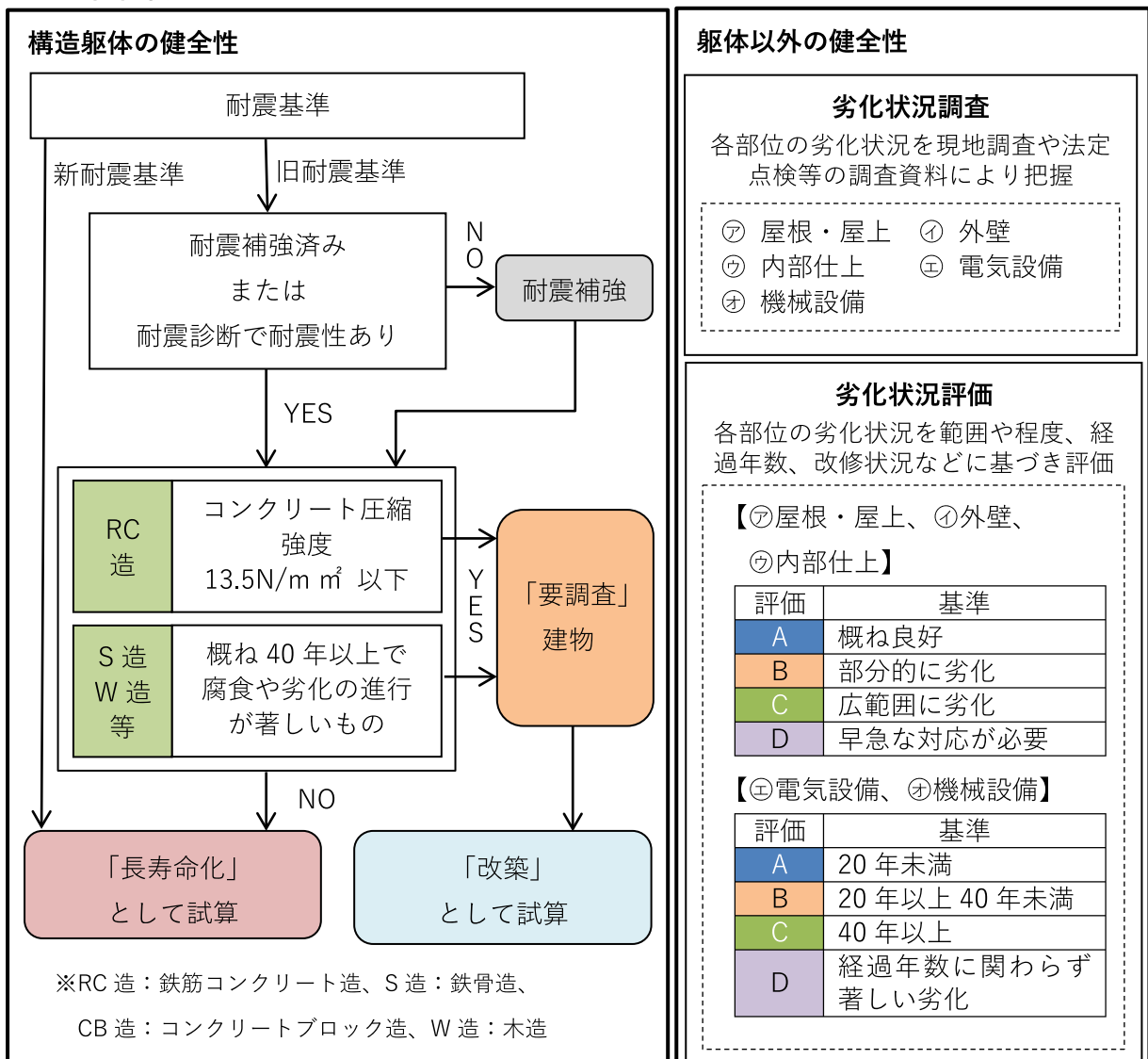
(国立社会保障・人口問題研究所の推計データより作成)

第4章 学校施設の老朽化の実態

4-1. 老朽化状況の把握

施設の老朽化状況は、「構造躯体の健全性」と「躯体以外の健全性」により、評価を行います。構造躯体の健全性は、耐震診断時の既存データから簡易診断を行い、具体的な長寿命化計画につなげます。躯体以外の健全性は、部位毎の現地調査及び法定点検結果を基に改修状況等を踏まえた劣化状況の評価を実施し、基本的な方針、整備水準、長寿命化計画につなげます。

■老朽化状況の把握フロー



- 学校施設整備の基本的な方針
- 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準
- 長寿命化計画の策定

4-2. 構造躯体の健全性の把握

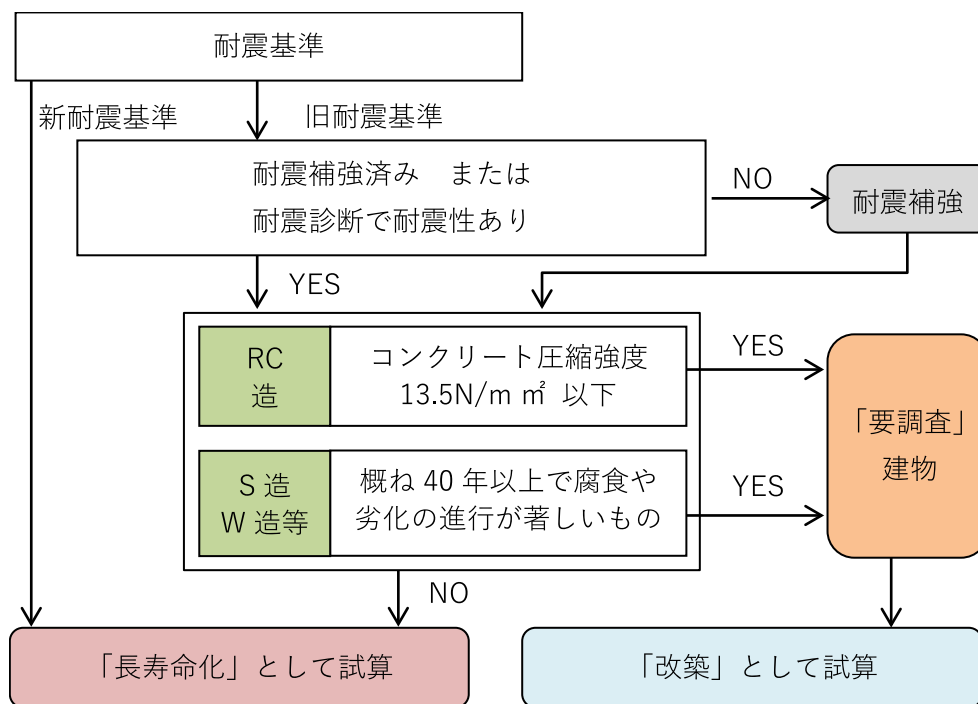
(1) 構造躯体の健全性の把握

構造躯体については、既に実施済みの耐震診断結果を基に健全性を把握し、「改築」と「長寿命化」の区分を明らかにしたうえで、簡易的に長寿命化に適さない可能性のある建物を選別します。

(2) 評価方法

対象は、延床面積 200 ㎡以上の主要建物とし、既に実施済みの耐震診断結果から、コンクリートの圧縮強度のデータを用いて、次の基準により構造躯体の健全性を把握し、長寿命化に適さない可能性のある建物かどうかを評価します。

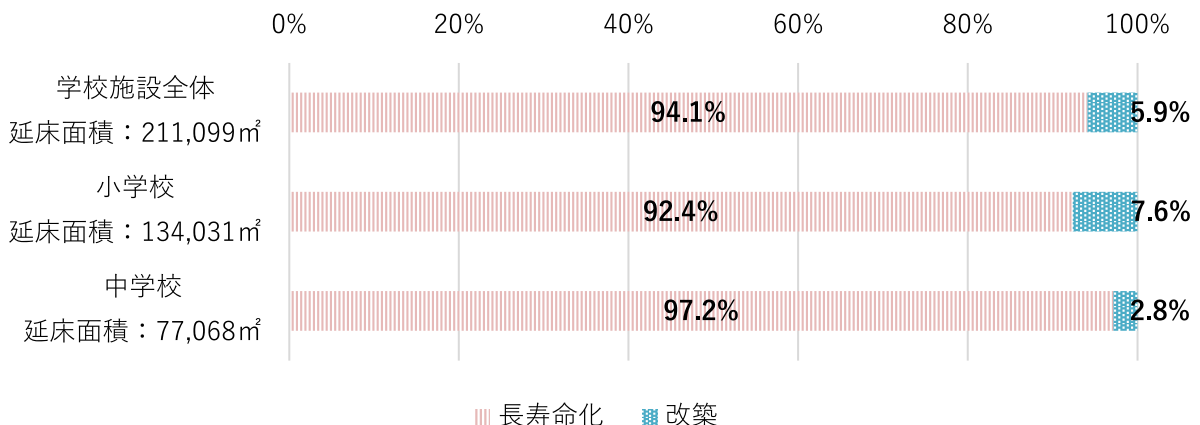
■構造躯体の健全性の把握フロー



※RC造：鉄筋コンクリート造、S造：鉄骨造、CB造：コンクリートブロック造、W造：木造

(3) 構造躯体の健全性の評価結果

本市の学校施設は、90%以上が長寿命化可能な建物となっています。



4-3. 躯体以外の健全性の把握

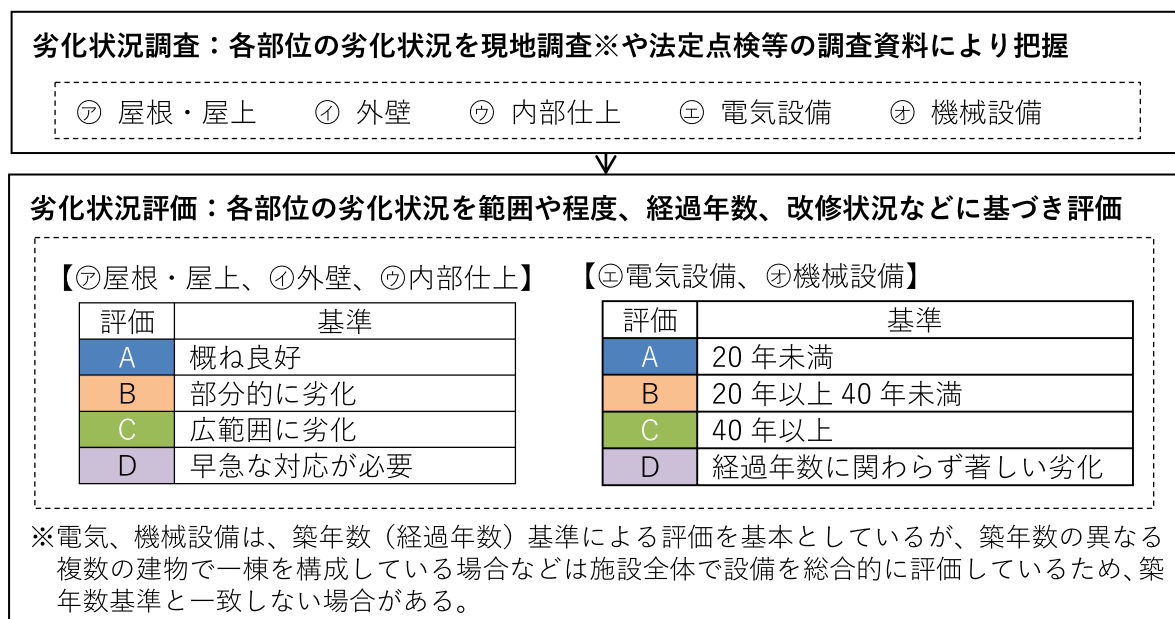
(1) 躯体以外の健全性の把握

劣化部位の修繕コストや改修等の優先順位付けを今後の維持・更新コストの算出に反映させるため、躯体以外の健全性を把握します。

(2) 評価方法

評価にあたっては、令和元年度に実施した現地調査並びに令和3年度以降に実施した法定点検及び改修の実施状況から、以下の項目に基づき評価します。

■躯体以外の健全性の把握フロー



※【現地調査の方法】

以下の点検項目に基づき、各部位の劣化状況を現地目視により把握します。

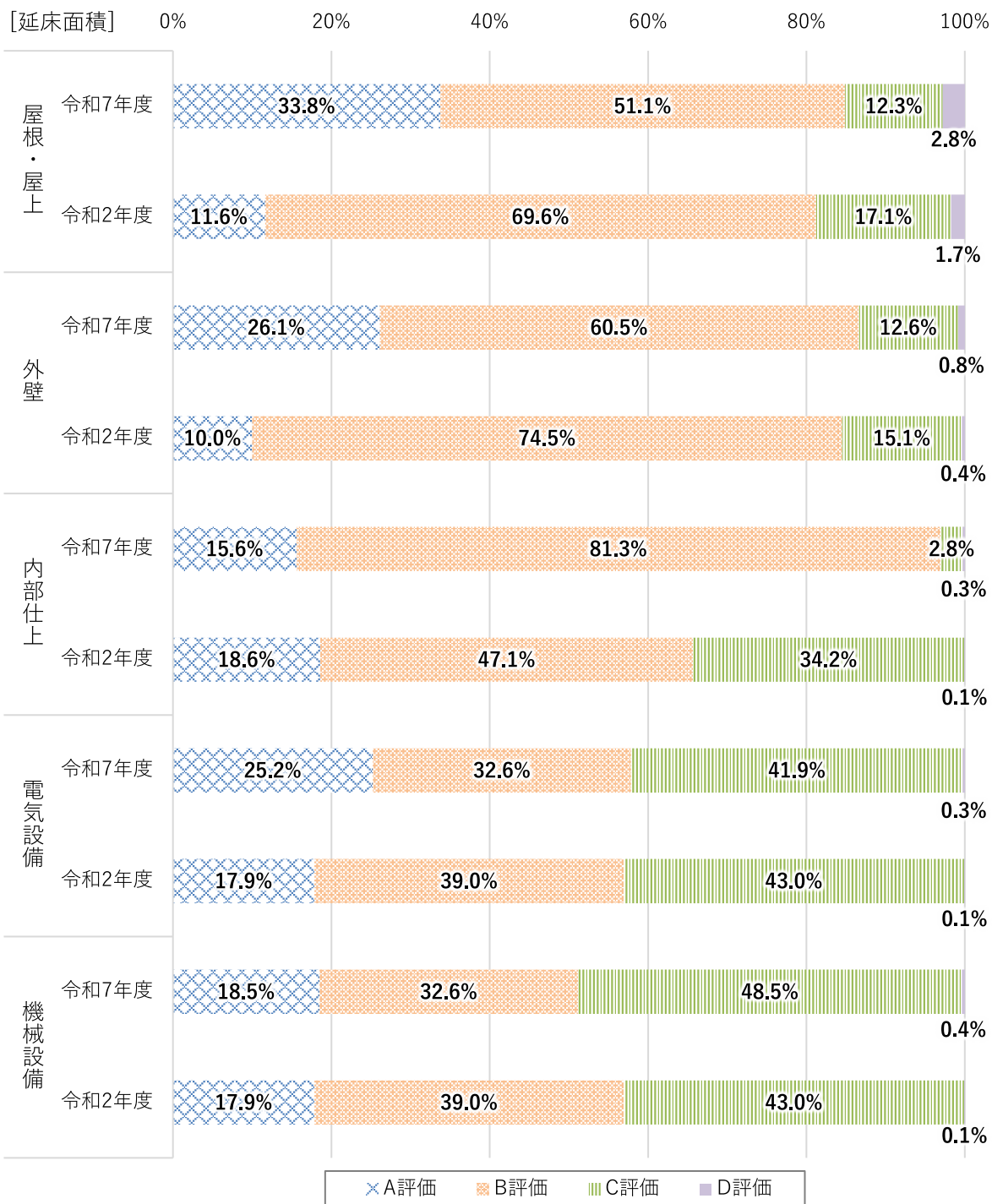
| 部位 | 点検項目 |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 屋根・屋上 | <ul style="list-style-type: none"> ○最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。 ○防水面において、膨れ・剥がれ・破れ・穴開きなどがいないか。 ○金属屋根においては、錆・損傷・腐食などがいないか。 |
| 外壁 | <ul style="list-style-type: none"> ○外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。 ○外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれがないか。また、降雨時や翌日に床面に水溜りが発生してないか。 ○外装材の亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損などがいないか。 ○建具枠、蝶番などの腐食、変形、ぐらつきなどがいないか。 ○窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥がれなどがいないか。 |
| 内部仕上 | <ul style="list-style-type: none"> ○内部において、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やボード類の浮きや損傷などがいないか。 ○天井ボードの落下や床シートの剥がれなどにより安全性が損なわれているところがないか。 |
| 電気設備 機械設備 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本は築年数により4段階で評価を行うが、以下の点検項目を加味し、総合的に評価する。 ○設備機器においては、機器や架台に錆・損傷・腐食などがいないか。 ○設備機器に漏水・漏油などがいないか。 ○給水設備においては、使用水に赤水や異臭がないか。 ○機器から異音はしていないか。 ○保守点検や消防の査察などで是正措置等の指摘がないか。 |

(3) 躯体以外の健全性の評価結果

① 学校施設全体

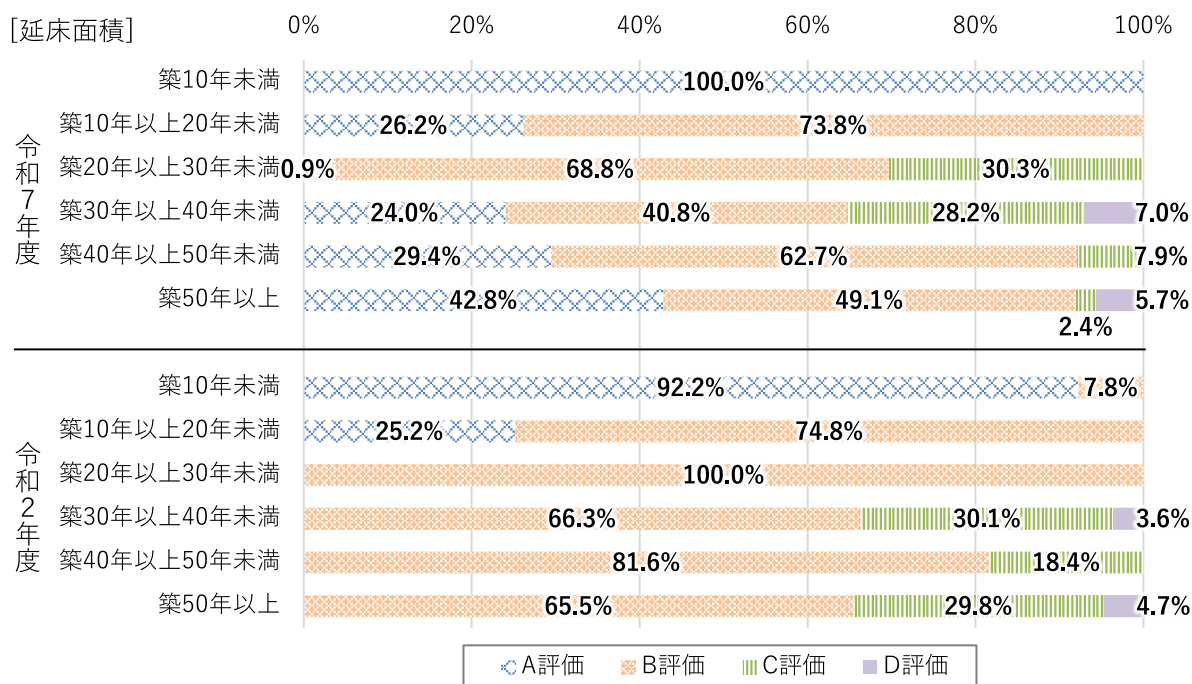
本市の学校施設は、「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上」に関して、B 評価以上の建物の割合が 80% を超え、一定の水準を保っていますが、一方で、「電気設備」「機械設備」に関しては、一部改善はあるものの、C 及び D 評価の割合が 40% を越え、劣化がみられます。

「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上」においては、令和 3 年度以降の改修により、計画策定時に比べて B 評価以上の割合が向上し、特に「内部仕上」は大幅な改善がみられます。



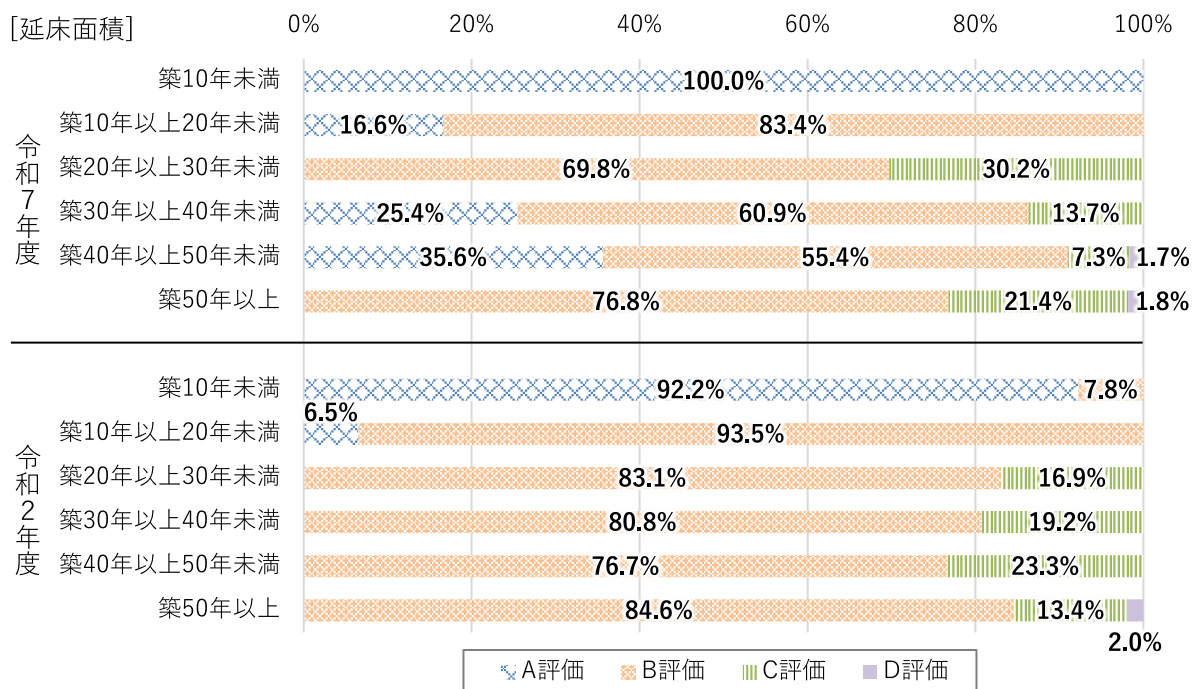
【屋根・屋上】

屋根・屋上の劣化状況を築年数ごとの分布で見ると、特に築20年以上30年未満の建物で劣化が進行していますが、一方で、築30年以上の建物については、令和3年度以降の改修により、計画策定時に比べてA評価の割合が増加するなど、健全性が回復しています。



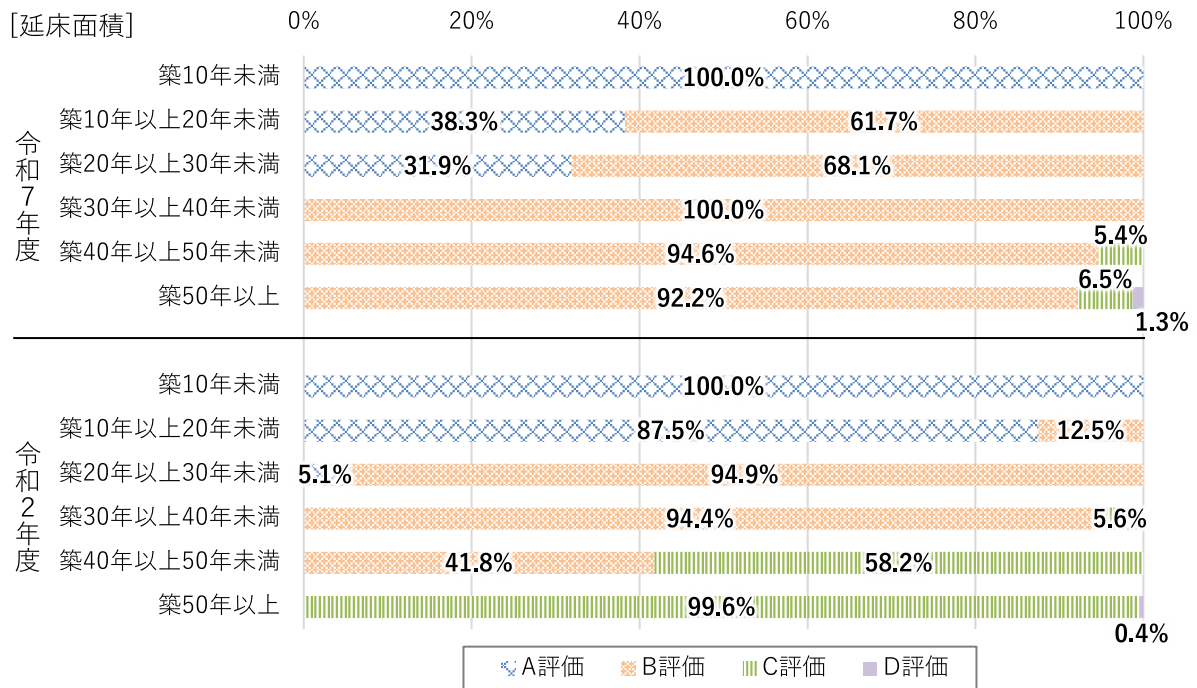
【外壁】

外壁の劣化状況を築年数ごとの分布で見ると、築50年以上を除く建物で、60%以上がB評価以上となっています。特に築30年以上50年未満の建物については、令和3年度以降の改修により、計画策定時に比べてB評価以上の割合が増加しています。



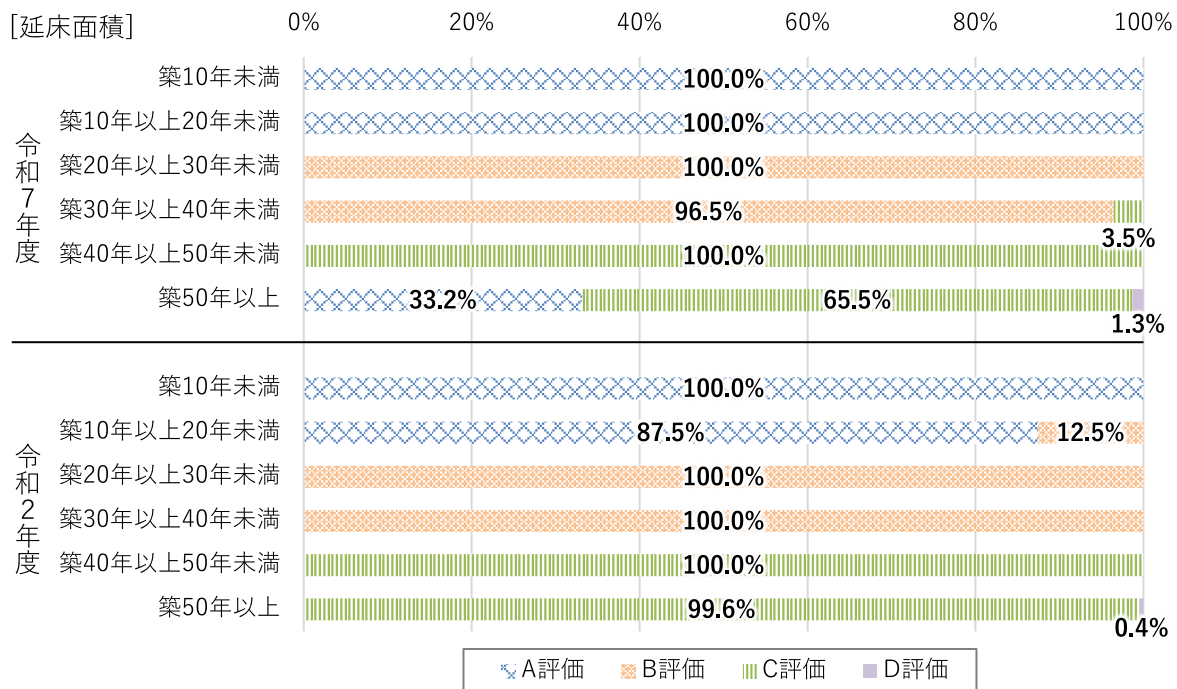
【内部仕上】

内部仕上の劣化状況を築年数ごとの分布で見ると、築年数に応じて、劣化が進行していますが、築30年以上の建物では令和3年度以降の改修により、計画策定時に比べてB評価の割合が増加しています。



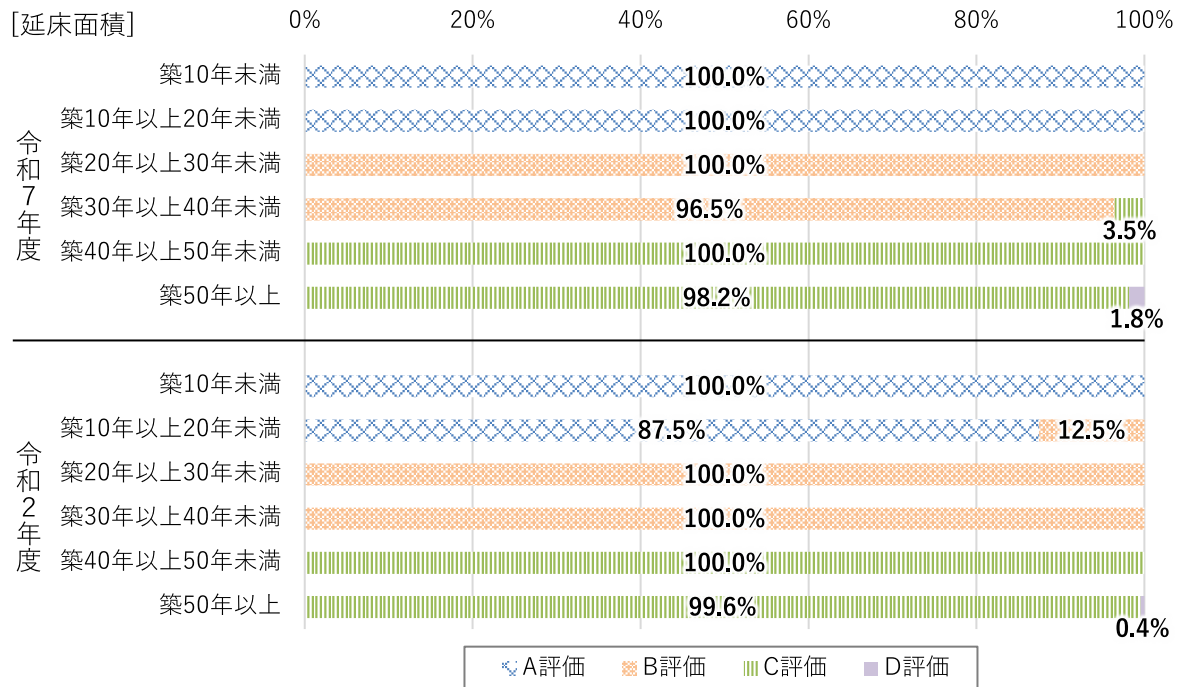
【電気設備】

電気設備の劣化状況を築年数ごとの分布で見ると、築50年以上の建物ではD評価が見られますが、令和3年度以降の改修により、計画策定時に比べてA評価の割合が増加しています。



【機械設備】

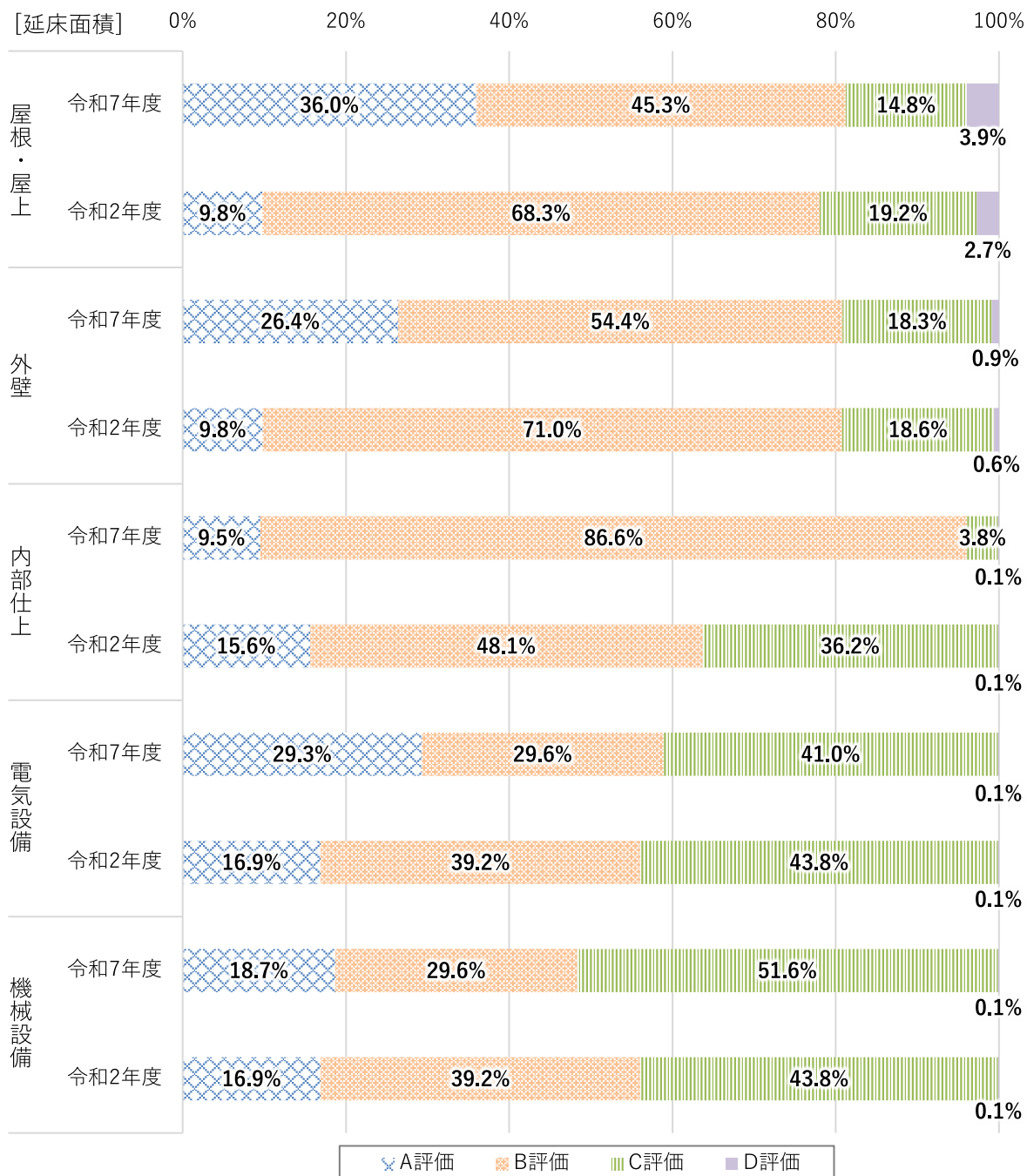
機械設備の劣化状況を築年数ごとの分布で見ると、築50年以上の建物でD評価が一部見られます。点検や補修等により、機能は維持していますが、年数経過により、計画策定時に比べて劣化が進行した評価となっています。



②小学校

小学校は、「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上」に関して、B評価以上の建物の割合が80%を超えており、一定の水準を保っていますが、一方で、「電気設備」「機械設備」に関しては、一部改善はあるものの、C及びD評価の割合が合計で40%を越え、劣化がみられます。

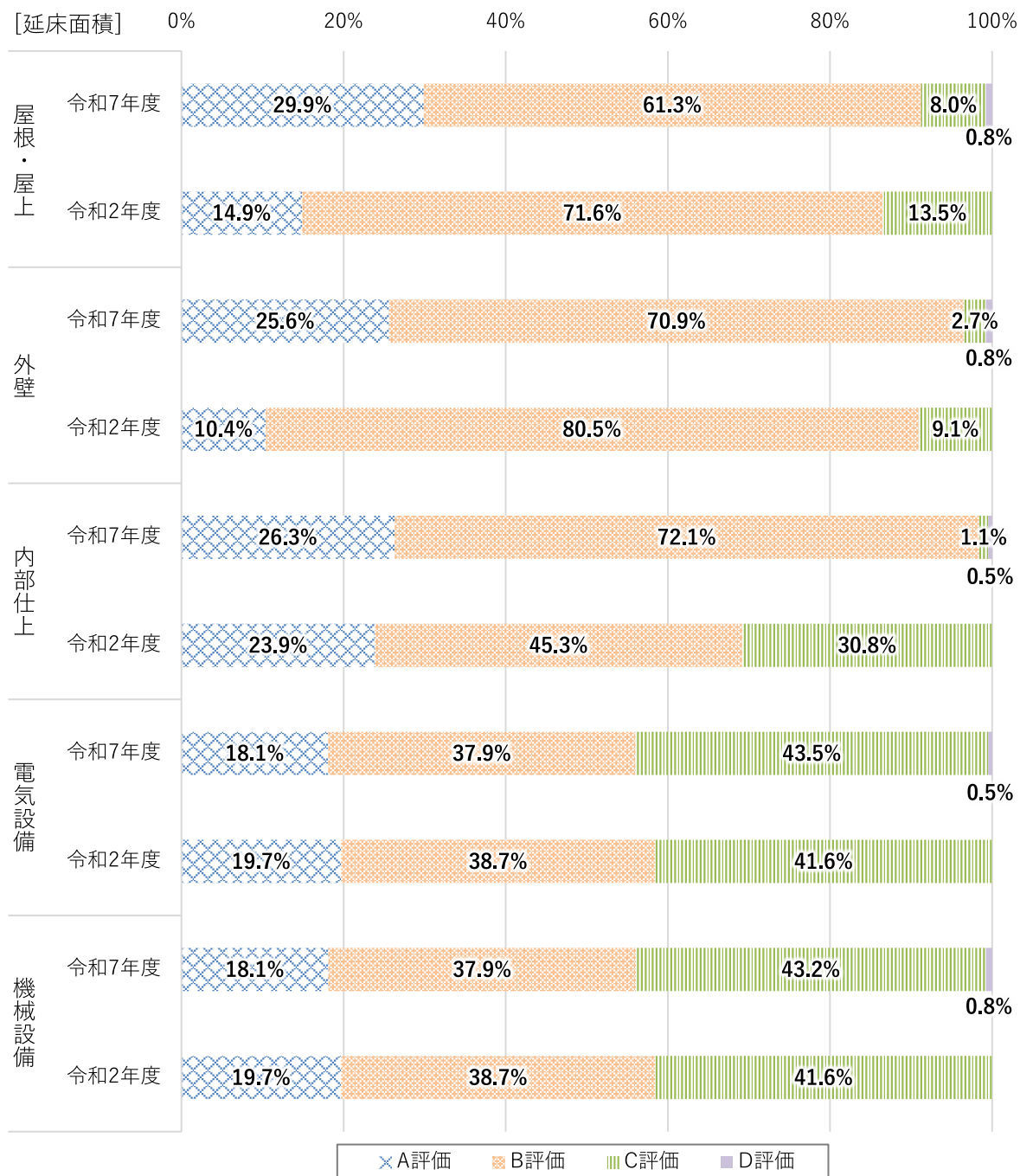
「屋根・屋上」「内部仕上」「電気設備」については、令和3年度以降の改修により、計画策定時に比べてB評価以上の割合が向上し、特に「内部仕上」は大幅な改善がみられます。



③中学校

中学校は、「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上」に関して、B評価以上の建物の割合が90%を超えており、一定の水準を保っていますが、一方で、「電気設備」「機械設備」に関しては、C及びD評価の割合が合計で40%を越え、劣化がみられます。

「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上」については、令和3年度以降の改修により、計画策定時に比べてB評価以上の割合が向上し、特に内部仕上は大幅な改善がみられます。



第5章 学校施設に求められる機能の把握

本計画の策定に当たっては、学校施設に対する学校利用者のニーズを把握するため、教職員に対するヒアリング調査や、PTA 役員及び学校運営協議会委員を対象にアンケート調査を令和2年度に実施しました。

調査では学校施設に対して、外壁や防水改修など建物の老朽化対策に加えて、照明、空調、トイレなど生活環境の改善、インターネットなど学習環境の改善、防犯対策やバリアフリー化など、多岐に渡る改善意見がありました。その中でも、トイレの洋式化や特別教室・体育館のエアコン整備を求める意見が多くありました。

このため、計画策定後は、令和3年度から令和7年度までの5年間で、外壁や防水改修など建物の老朽化対策を実施するとともに、児童生徒数に応じた必要なトイレの洋式化や学校が必要とする特別教室への空調設備の設置、1人1台端末を活用した学習を行うためのインターネット環境の整備など、機能向上の面からも様々な整備を進めてきました。

このたびの改定に当たっては、これらの整備状況等も踏まえた学校施設に対するニーズを把握するため、児童生徒、教職員を含めた学校利用者に対象を広げた上で、再度、同様のアンケート調査を実施しました。

5-1. 教職員等へのアンケート調査

(1) アンケート調査概要

小中学校の教職員や学校運営協議会委員、PTA 役員を対象に、今後の学校施設に求められる取組や機能等を把握するためのアンケート調査を実施しました。

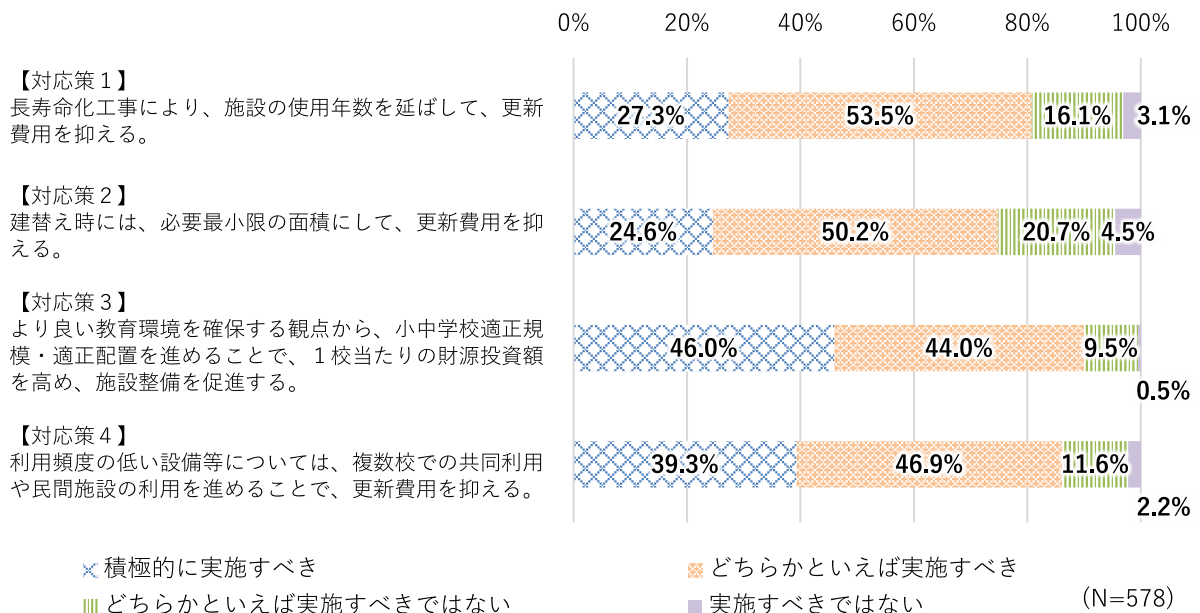
| | |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 調査の対象 | ・小中学校教職員 ・学校運営協議会委員 ・小中学校 PTA 役員 |
| 調査方法 | Web アンケート |
| 調査期間 | 令和 7 年 10 月 13 日～令和 7 年 10 月 24 日まで |
| 有効回収数 (回収率) | ・小中学校教職員：398 (54.3%) ・学校運営協議会委員：77 (16.8%) ・小中学校 PTA 役員：103 (53.4%) |

(2) 調査結果 (一部抜粋)

問：限られた財源の中で、学校施設を維持・更新するためには、様々な対応策が必要となります。

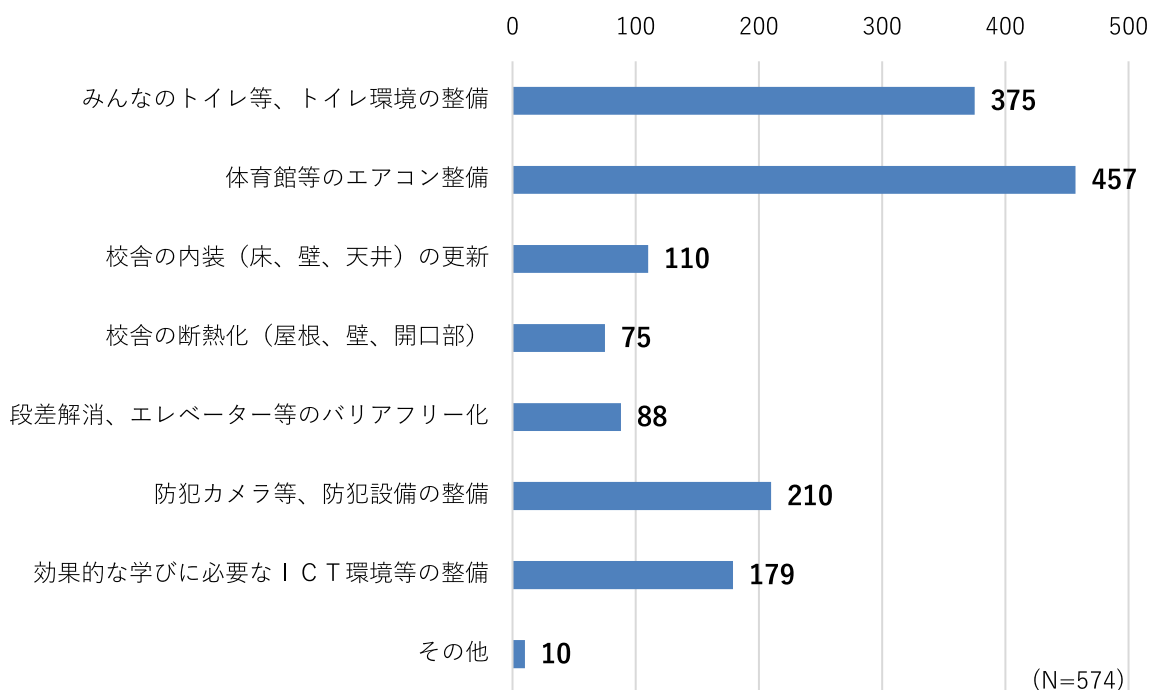
次の 4 つの対応策について、あなたの考え方に近いものをそれぞれ 1 つ選んでください。

小中学校の適正規模・適正配置による施設整備の促進、共同利用や民間施設の利用による施設整備を求める回答が多くなっています。



問：既存学校施設の整備について、今後、限られた財源の中で、何を優先すべきとお考えですか。
 (複数回答可)

体育館（屋内運動場）等のエアコン整備や、みんなのトイレ等のトイレ環境整備を求める回答が多くなっています。



学校施設のあり方について自由意見の一部抜粋

【トイレ環境の改善について】

- ・児童のトイレがほとんど和式のため、洋式のトイレを増やしてほしい。
- ・トイレが古く、暗く、においがきついなど、衛生的でないため、トイレの環境をよくしてほしい。
- ・学校でトイレを我慢している子どもがいると聞いているので、誰もが毎日使うトイレの改修を最優先で行ってほしい。

【空調設備の設置について】

- ・生徒や教員の健康安全のためにも、まだ設置されていない体育館や特別教室にエアコンを設置してほしい。

【学校施設の統廃合について】

- ・学校統合により学校数を減らした上で、建替えを進めていくことが必要。
- ・北部地域等における少人数を理由とした統廃合は行うべきではない。
- ・登校距離等を考慮した統廃合を検討すべきであり、選択の自由があってもよい。

5-2. 児童生徒へのアンケート調査

(1) アンケート調査概要

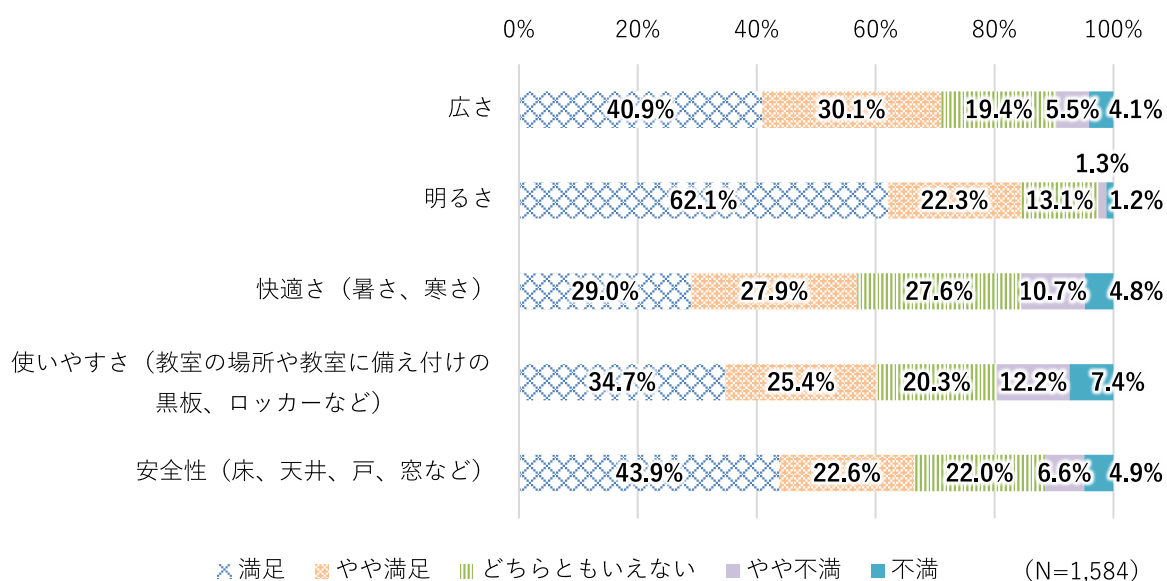
学校施設の主な利用者である児童生徒を対象に、現在の学校施設に対する満足度や意見を把握するためのアンケート調査を実施しました。

| | |
|----------------|------------------------------------------------|
| 調査の対象 | ・小学校 5 年生 ・中学校 2 年生 |
| 調査方法 | Web アンケート |
| 調査期間 | 令和 7 年 10 月 13 日～令和 7 年 10 月 24 日まで |
| 有効回収数 (回収率) | ・小学校 5 年生：730 (61.7%) ・中学校 2 年生：854 (72.5%) |

(2) 調査結果 (一部抜粋)

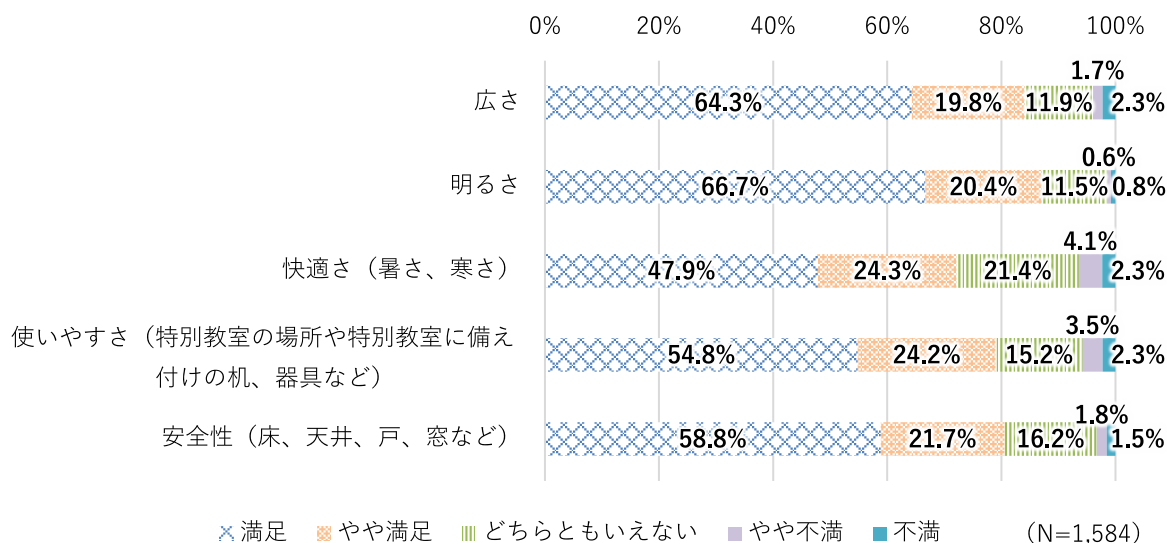
問：【教室】について、どう思いますか？

教室については、すべての項目で満足・やや満足の回答が半数以上を占めていますが、使いやすさにおいて約 2 割が不満を抱えています。



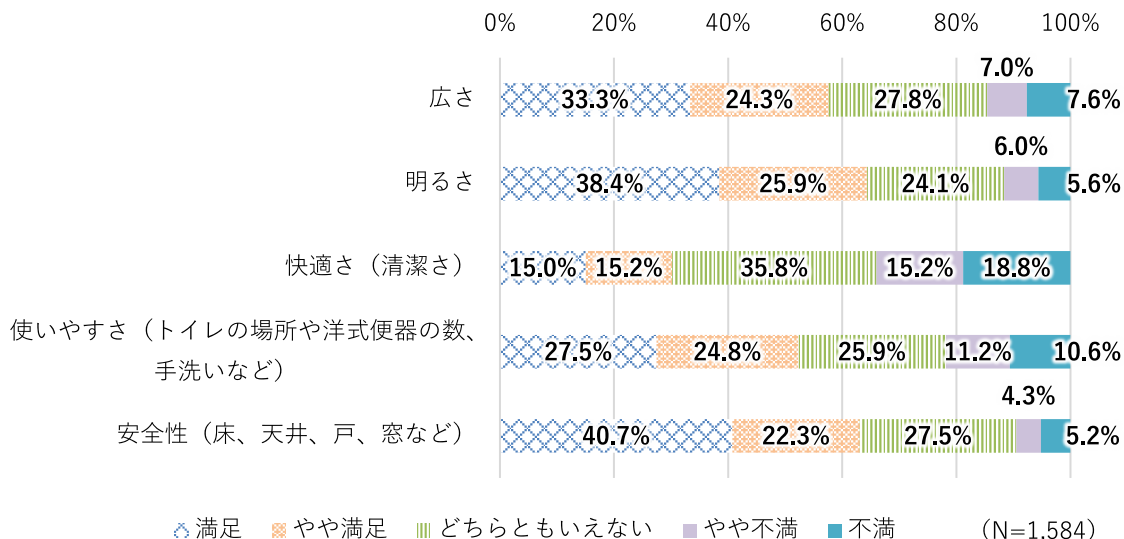
問：【理科室、音楽室、図書館などの特別教室】について、どう思いますか？

特別教室については、すべての項目で満足・やや満足の回答が7割以上を占めています。



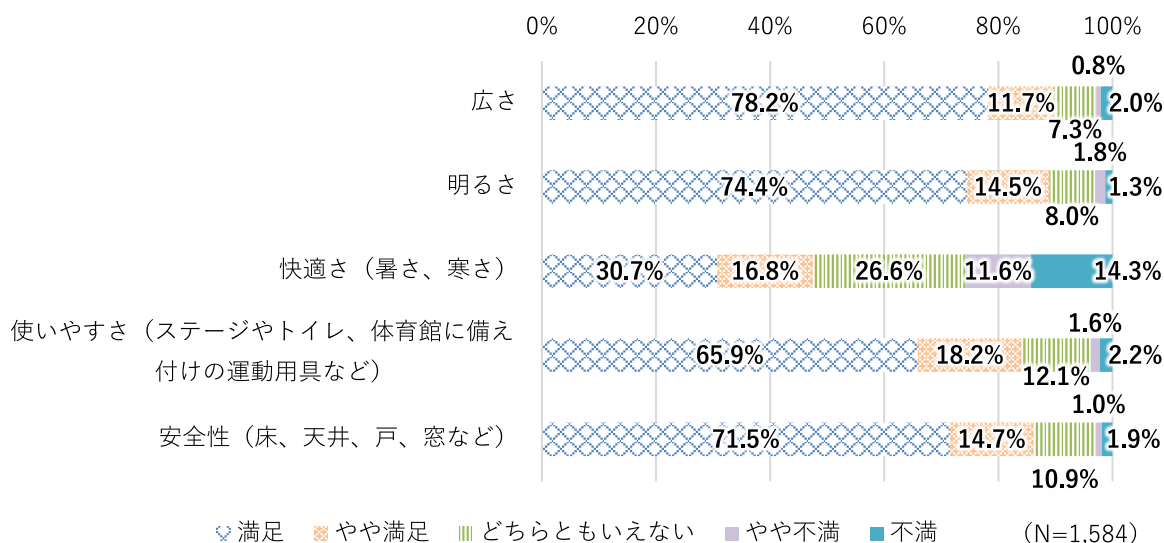
問：【トイレ】について、どう思いますか？

トイレについては、快適さに関する満足度が低い状況にあります。



問：【体育館】について、どう思いますか？

体育館については、快適さに関する満足度が低い状況にあります。



改善意見抜粋

【トイレ環境について】

- ・トイレが臭いので、良くしてほしい。
- ・暗いので、明るくしてほしい。
- ・手洗い場が狭いので、広くしてほしい。
- ・トイレが混みあうので、洋式トイレの数を増やして欲しい。
- ・男子トイレが見えるため、トイレにドアをつけてほしい。

【空調設備について】

- ・体育館は暑いのでエアコンをつけてほしい。
- ・エアコンが場所によって暑かったり寒かったりするので、良くしてほしい。

【内部仕上について】

- ・ロッカーが狭いため、ロッカーを大きくしてほしい。
- ・床がギシギシいうところや剥げているところがあるので、直してほしい。

【室内備品について】

- ・机や椅子が古く、また机が狭く、使いづらいため、良くしてほしい。

第6章 実態を踏まえた課題の整理

これまでの現状の整理や老朽化状況の把握、アンケート調査の結果等を基に、本市の学校施設が抱える課題を、以下のとおり整理します。

安全性

- 構造躯体の健全性については、緊急かつ重大な問題はないものの、老朽化が進んでいるため、計画的な改修等が求められています。
- 躯体以外の健全性について、「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上」では、B 評価以上の割合が 80% 以上を占めており、一定の水準を保っていることがうかがえますが、C 評価以下の建物に対する計画的な対応が求められています。
- 全国的に学校現場で様々な事件が発生する中、防犯の観点から安全性の高い施設整備が求められています。

快適性

- 空調設備（エアコン）や多目的トイレ（みんなのトイレ）の設置、照明設備の改修など、設備環境の向上が求められています。
- 老朽化した床の解消やバリアフリー化など、学校生活を快適に過ごすための環境改善が求められています。
- 老朽化したトイレなど、衛生環境の改善が求められています。
- 教室等の連絡用インターホンの設置や管理諸室の充実など、教職員が働きやすい環境への改善が求められています。

学習活動への適応性

- 1 人 1 台端末を活用した教育の推進など、学習形態が変化する中で、ICT 環境の充実や現在の規格に合った机・ロッカーの整備など、教育ニーズに対応した施設整備が求められています。

環境への適応性

- 照明の LED 化など、環境に配慮した省エネ環境の整備が求められています。

地域の拠点化

- 災害発生時には、地域の避難所となることから、防災機能の充実が求められています。
- 地域と学校が連携・交流しやすい施設整備が求められています。

第7章 学校施設整備の基本的な方針

7-1. 学校施設の目指すべき姿

これまで整理してきた学校施設の現状や課題等を基に、将来に渡って児童生徒の学びを保障し、安心・安全に過ごせる最適な教育環境として、本市の学校施設の目指すべき姿を、以下のとおり設定します。

1 安心・安全で快適な学校施設を目指します。

学校は、児童生徒が1日の大半を過ごす生活・学習の場であるとともに、地域の避難場所等としても活用される地域の拠点施設であることから、安心・安全で誰もが快適に利用できる学校施設を目指します。

2 質の高い効果的な学びを提供できる学校施設を目指します。

学校における学習形態は、デジタル化やグローバル化の進展など社会情勢の変化に伴って多様化していることから、本市が進める小中一貫教育や多様化する教育ニーズに対応した質の高い効果的な学びを提供できる学校施設を目指します。

3 地域連携・交流の核となる学校施設を目指します。

人口減少や少子高齢化が進む中、学校施設はコミュニティ・スクールなど地域活動の場として、また地域活性化の面からも重要な役割を担っていることから、地域連携・交流の核となる学校施設を目指します。

4 持続可能な学校施設を目指します。

学校は、児童生徒にとって最適な教育環境を将来に渡って確保していく必要があることから、今後、厳しい財政状況が続く中での学校施設の一斉更新や、児童生徒数の減少、環境負荷の軽減などの課題に対応しながら、持続可能な学校施設を目指します。

7-2. 計画の基本方針

「学校施設の目指すべき姿」を実現するためには、本市の財政状況やその他の公共施設の整備等を考慮するとともに、今後は令和6年11月に策定された「宇部市立小中学校適正規模・適正配置計画」と整合を図りながら、実際の整備等を進めていく必要があります。また、安定した教育サービスを提供するためには、整備後の更新や維持管理についても考慮していく必要があります。

このため、学校施設の更新や維持管理に係るコストの縮減等を含め、本計画の基本方針を以下のとおりとします。

1 安心・安全で快適な学校施設の整備の推進

児童生徒や教職員が、安心・安全に学校生活を送れるよう、老朽化対策等により建物の安全性の確保を図るとともに、設備改修やバリアフリー化等により多様な学習形態の変化に対応した快適で利用しやすい環境の整備を推進します。また、地域の避難場所として、防災機能の強化等を図りながら、安心・安全な学校施設の整備を推進します。

2 長寿命化及び「予防保全」型管理による計画的な維持管理の推進

建物の機能や性能を向上させる長寿命化改修を計画的に実施するとともに、これまでの「事後保全」型の施設管理から「予防保全」型の施設管理への転換を図り、計画的な学校施設の整備及び維持管理を推進します。

3 地域連携・交流の核となる学校施設整備の推進

地域連携・交流の核となる学校施設を目指します。また、ふれあいセンターや学童保育施設との「複合化」を推進します。

4 効率的・効果的な施設マネジメントの推進

将来の人口動態等を踏まえ、必要な機能、設備の把握に努め、効率的かつ効果的な施設マネジメントを推進します。また、民間事業者の有する資金やノウハウの活用など民間活力の導入を検討し、最適な施設マネジメントを推進します。

5 学校施設規模の適正化の推進

最適な教育環境を確保していくため、児童生徒数に合わせた改築の実施等による学校施設の規模の適正化や「宇部市立小中学校適正規模・適正配置計画」に基づく施設整備を推進します。

6 脱炭素化による環境配慮の推進

「宇部市地球温暖化対策実行計画」に基づき、施設の更新や改修を行う際には、再生可能エネルギー設備や高効率照明の導入などを検討し、脱炭素化を推進します。

7-3. 改修等の基本的な方針

(1) 長寿命化及び予防保全の方針

長寿命化とは、老朽化する施設をできる限り長く使い続けるために、施設の機能や性能を向上させる整備を適切な時期に行うことです。

学校施設の長寿命化を図ることにより、長く良好な状態で教育環境を提供することができるだけでなく、今後、中長期的に発生する維持・更新コストを平準化し、かつライフサイクルコストの縮減を実現することができます。

また、学校施設を良好な状態で、できるだけ長く使用していくためには、長寿命化改修に加え、適切な維持管理を行うことが重要です。そのためには、老朽化による大規模な不具合が生じた後に修繕を行う「事後保全」型の施設管理から、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施し、機能・性能の保持・回復を図る「予防保全」型の施設管理への転換を行うことが重要です。

今後は、「長寿命化改修」を適切な時期に実施することにより、持続可能な財政運営を進めながら、定期的な点検や適切な周期での修繕等の実施による「予防保全」型の施設管理の実施サイクルの構築を進めることで、学校施設の目指すべき姿の実現を目指します。

(2) 目標使用年数の設定

本市の学校施設において、長寿命化を図る場合の目標使用年数は、「宇部市公共施設等総合管理計画（令和5年3月改定）」における公共施設の長寿命化の考え方を基に、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）において示されている学校・官庁施設に関する構造及び品質別の望ましい目標耐用年数の考え方を参考に設定します。

▼建築物（学校・官庁）の望ましい目標耐用年数の級

| | 鉄筋コンクリート造 | | 鉄骨造 | | | ブロック造 れんが造 | 木造 |
|-----------|-------------|--------------|------------|--------------|-----------|---------------|-----------|
| | 鉄骨鉄筋コンクリート造 | | 重量鉄骨 | | 軽量鉄骨 | | |
| | 高品質 の場合 | 普通の品質 の場合 | 高品質 の場合 | 普通の品質 の場合 | | | |
| 学校・ 官庁 | Y100 以上 | Y60 以上 | Y100 以上 | Y60 以上 | Y40 以上 | Y60 以上 | Y60 以上 |

▼目標耐用年数の級の区分

| 級 | 目標耐用年数 |
|------|----------|
| | 範囲 |
| Y100 | 80～100 年 |
| Y60 | 50～80 年 |
| Y40 | 30～50 年 |

（出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会））

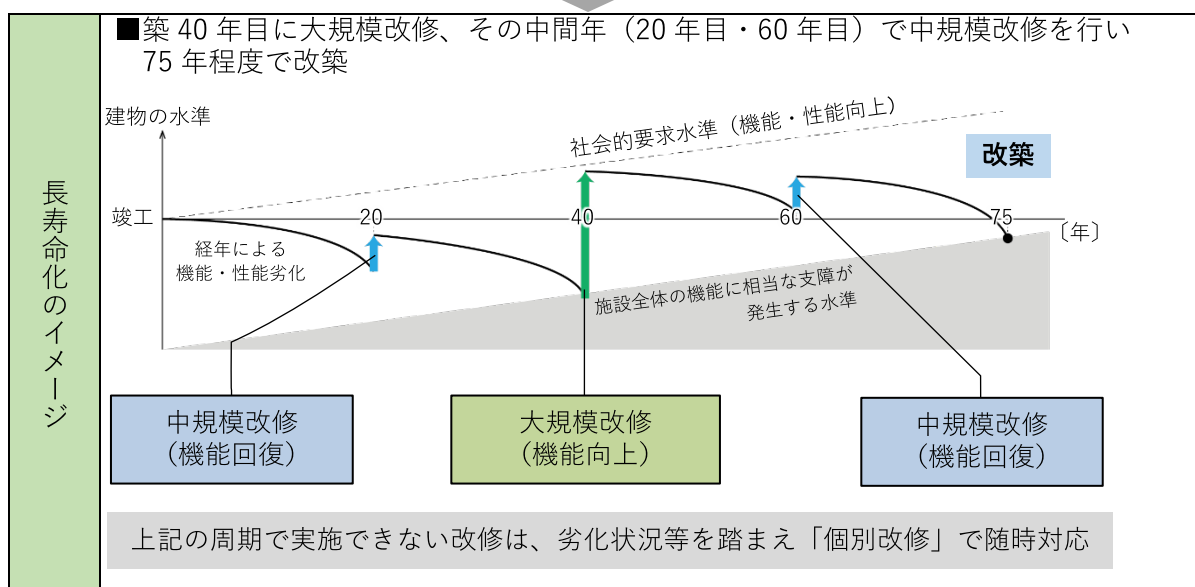
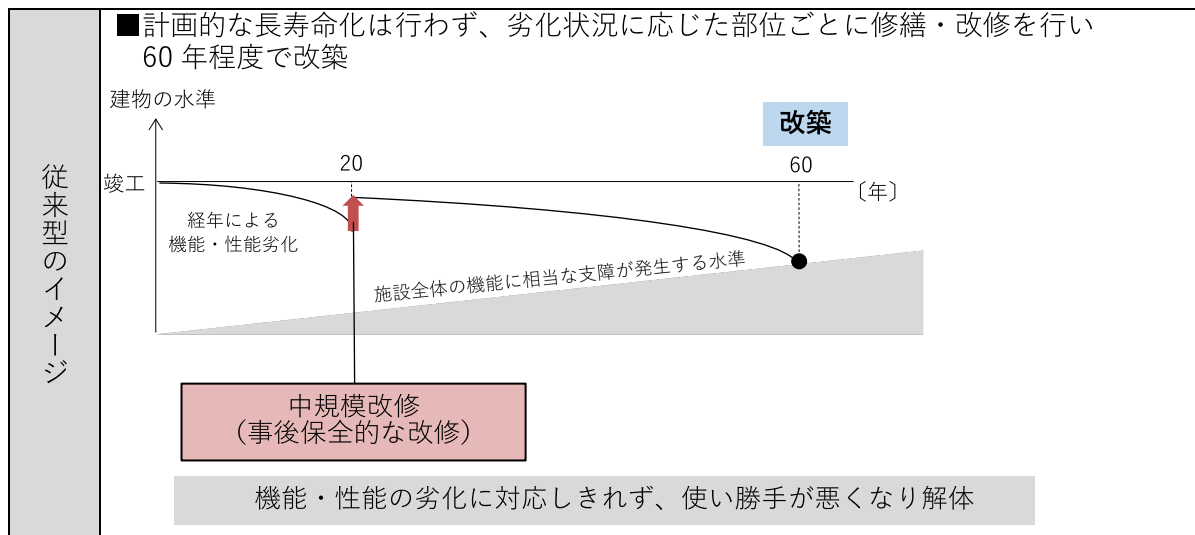
これらの構造及び品質別の望ましい目標耐用年数の考え方を踏まえ、本計画における長寿命化を実施した場合の建築物の目標使用年数を以下のとおり設定します。

▼長寿命化を実施した場合の建築物の目標使用年数

| 構 造 | 目標使用年数 |
|----------------------------|--------|
| 鉄筋コンクリート造 (RC) 鉄骨造 (S) | 75 年 |
| コンクリートブロック造 (CB) 木造 (W) | 50 年 |

(3) 長寿命化改修の周期

これまでの改築（建替え）を中心とした従来型の施設整備を見直し、今後は、中規模改修及び大規模改修の併用による長寿命化を目指します。以下は、従来型と長寿命化改修の周期の考え方を示しています。



▼長寿命化における中規模及び大規模改修の主なメニュー

| | | 中規模改修 (築 20 年、60 年目) | 大規模改修 (築 40 年目) |
|------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防水改修 | | <ul style="list-style-type: none"> ●劣化部の除去 ●防水層取替、再塗装 ●金属屋根設置、再塗装 | <ul style="list-style-type: none"> ●劣化部の除去 ●防水層取替、再塗装 ●金属屋根設置、再塗装 |
| 外壁改修 | | <ul style="list-style-type: none"> ●外壁コンクリートの中性化対策 ●劣化部の撤去・補強 ●外壁塗装 | <ul style="list-style-type: none"> ●外壁コンクリートの中性化対策 ●劣化部の撤去・補強 ●外壁塗装 |
| 内部改修 | | — | <ul style="list-style-type: none"> ●劣化部の撤去 ●内装仕上 ●建具交換 |
| 設備改修 | 電気 | — | <ul style="list-style-type: none"> ●照明更新 ●幹線の更新 ●受電設備更新 ●消防設備更新 ●放送設備更新 |
| | 給排水 | — | <ul style="list-style-type: none"> ●給水管・継手・給水栓交換 ●給水・消火ポンプ交換 ●不良個所の排水管・継手交換 ●水処理施設の更新 |
| | ガス | — | ●給湯器・ガス管の交換 |
| | 空調 | ●空調機の更新 | ●空調機の更新 |

| | | |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 機能向上 | <ul style="list-style-type: none"> ●照明の LED 化 (省エネ) ●多目的トイレの設置 (バリアフリー) | <ul style="list-style-type: none"> ●トイレの洋式化 (生活環境) ●空調機の設置 (生活環境) |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|

※中規模及び大規模改修は、施設毎の劣化状況に応じて必要な改修内容を精査して実施する。

7-4. 維持管理の基本的な方針

長寿命化改修を計画的に実施し、施設を長期間にわたって有効に活用するためには、施設の劣化状況に応じて対応することが重要です。

そのため、定期的な点検や日常的な点検により、施設の劣化状況を把握し、劣化状況に応じた改修内容や改修時期を検討しながら、学校施設の効率的・効果的な維持管理に努めていきます。

(1) 点検

点検には、法令によって一定期間ごとに行うことを義務付けられている法定点検と、施設管理者等が施設の利用などを通して、異常・劣化を目視等で調査する日常点検があります。

| 点検 | 内容 |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 法定点検 | <ul style="list-style-type: none">・各種法令に基づき、実施することが義務付けられている点検。・代表的なものとして、建築基準法第12条により定められている定期点検では、建築物の構造等は3年に一度、建築設備、防火設備等の設備は1年に一度、有資格者が損傷・腐食その他の劣化状況を点検することが定められている。・その他、消防法、電気事業法、水道法等による各設備の法定点検がある。 |
| 日常点検 | <ul style="list-style-type: none">・資格等の制限はなく日常の利用等の中で確認する点検。・施設管理者等が施設の利用などを通して、事故防止等の安全管理において、緊急性が高い項目の異常・劣化を目視等で点検する。 |

(2) 維持管理における点検・評価項目

学校施設の維持管理を効率的・効果的に実施するため、点検・評価の項目を整理します。点検項目は、躯体以外の健全性を把握するために、国が示した下記「劣化状況調査票」のとおりとし、過去の更新・改修記録から各部位の劣化状況を評価し、これに各種点検結果を基にした補正を加えることにより建物の健全度を評価します。

この調査票は、建築基準法第12条による点検等の結果を反映し、随時更新します。

【劣化状況調査票】

| | | | | | |
|------|------|---|------|--------------|--------|
| 通し番号 | | | | | |
| 学校名 | | | 学校番号 | | |
| 建物名 | | | | 調査日 | |
| 棟番号 | | | 建築年度 | 年度(年度) | |
| 構造種別 | 延床面積 | ㎡ | 階数 | 地上 | 階 地下 階 |

| 部位 | 仕様 (該当する項目にチェック) | 工事履歴(部位の更新) | | 劣化状況 (複数回答可) | | 箇所数 | 特記事項 | 評価 |
|---------|-------------------------------------------|-------------|------|-------------------------------------------|--|-----|------|----|
| | | 年度 | 工事内容 | | | | | |
| 1 屋根・屋上 | <input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 | | | <input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある | | | | |
| | <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 | | | <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある | | | | |
| | <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 | | | <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) | | | <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) | | | <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある | | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他の屋根 () | | | <input type="checkbox"/> 樋やルーフレンを目視点検できない | | | | |
| | | | | <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある | | | | |
| 2 外壁 | <input type="checkbox"/> 塗仕上げ | | | <input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある | | | | |
| | <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り | | | <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 金属系パネル | | | <input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ | | | | |
| | <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) | | | <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている | | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他の外壁 () | | | <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある | | | | |
| | | | | <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある | | | | |

| 部位 | 修繕・点検項目 | 改修・点検年度 | 特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項) | 評価 |
|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------|---------|------------------------|----|
| 3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等 | <input type="checkbox"/> 老朽改修 | | | |
| | <input type="checkbox"/> エコ改修 | | | |
| | <input type="checkbox"/> トイレ改修 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 法令適合 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 校内LAN | | | |
| | <input type="checkbox"/> 空調設置 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 障害児等対策 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 防犯対策 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策 | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他、内部改修工事 | | | |
| 4 電気設備 | <input type="checkbox"/> 分電盤改修 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検 | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事 | | | |
| 5 機械設備 | <input type="checkbox"/> 給水配管改修 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 排水配管改修 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 消防設備の点検 | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事 | | | |

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

| |
|--|
| |
|--|

| |
|----------|
| 健全度 |
| 0 / 100点 |

第8章 計画の策定

8—1. 長寿命化対象施設（建物）の整理

（1）学校施設の事業手法の選定

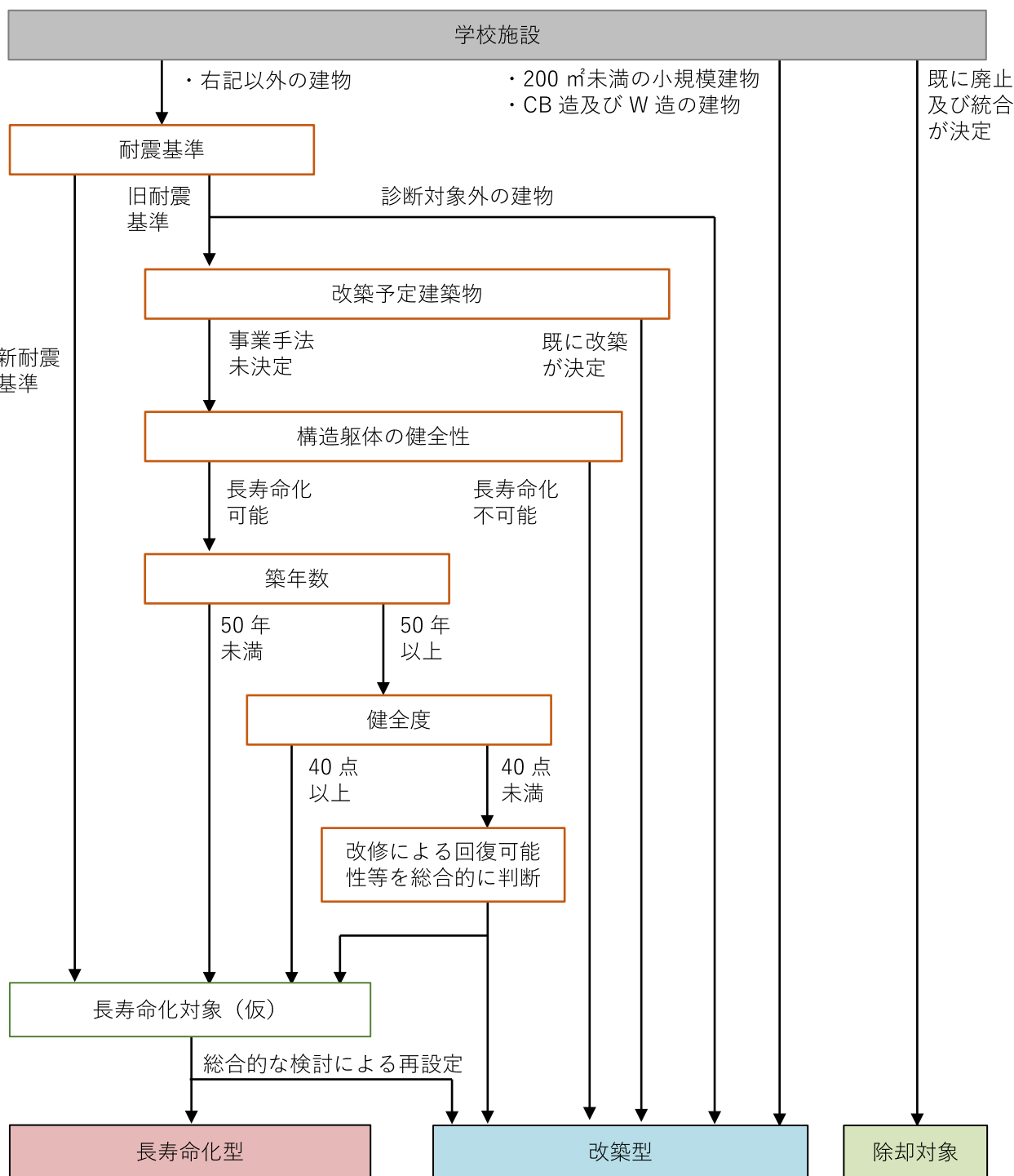
本計画において、長寿命化改修を実施する対象施設を以下のフローに基づき整理します。

ただし、最終的な長寿命化・改築の判断は、事業の実施段階における躯体の詳細な調査結果のほか、建物の配置や利用状況、教育面での課題、経済性などの観点も踏まえた総合的な評価を行ったうえで、決定することとします。

■学校施設の事業手法選定フロー

| ①規模 | <ul style="list-style-type: none"> 小規模（200㎡未満）建物は、性能や機能の向上を図る長寿命化改修に適していないと考えられるため、改築対象とします。 ただし、昇降口棟やクラブハウスなど、上記の建物が長寿命化対象施設と一体の施設と考えられる場合、長寿命化対象施設との整合を図るものとします。 CB造及びW造の建物は、規模に係わらず、「宇部市公共施設等総合管理計画」に基づき、改築対象とします。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------|------|------|-----|------|-------|------|-----|--------|------------|-----|-----|--------|-------|-----|-----|--------------|-------|-----|--|-------|----|------|------|------|---------|-----|------|------|-----|------|------------------------------|
| ②耐震基準 | <ul style="list-style-type: none"> 新耐震基準適用後（昭和56年6月1日以降）に建設された建物は長寿命化対象とします。 旧耐震基準で建設された建物のうち、耐震診断の対象とならない建物は、改築することとします。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③構造躯体の健全性 | <ul style="list-style-type: none"> RC造は、コンクリート圧縮強度13.5N/mm²以下、S造等は概ね40年以上で腐食や劣化の進行が著しいものを改築対象とします。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④築年数 | <ul style="list-style-type: none"> 長寿命化対象としては、令和7年度時点で、築50年未満の建物とします。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤健全度 | <ul style="list-style-type: none"> 築50年以上の建物については、劣化状況調査の結果から、健全度を算出し、その点数が40点以上の場合には長寿命化対象、40点未満の場合には改修等による機能回復等を総合的に判断した上で、長寿命化可能となれば、長寿命化対象とします。 健全度とは、建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、0～100点で数値化した評価指標であり、点数が高いほど健全という評価になります。部位の評価点（A～D評価）と部位のコスト配分を以下のように設定し、健全度を算出します。なお、部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、按分して設定しています。 <p style="text-align: center;">▼劣化状況の評価基準と評価点</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築</th> <th>設備</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A評価</td> <td>概ね良好</td> <td>20年未満</td> <td>100点</td> </tr> <tr> <td>B評価</td> <td>部分的に劣化</td> <td>20年以上40年未満</td> <td>75点</td> </tr> <tr> <td>C評価</td> <td>広範囲に劣化</td> <td>40年以上</td> <td>40点</td> </tr> <tr> <td>D評価</td> <td>早急に対応する必要がある</td> <td>著しい劣化</td> <td>10点</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">▼部位のコスト配分</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>屋根・屋上</th> <th>外壁</th> <th>内部仕上</th> <th>電気設備</th> <th>機械設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コスト配分係数</td> <td>4.2</td> <td>14.9</td> <td>21.3</td> <td>9.0</td> <td>16.6</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">▼健全度の算出式</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="padding: 5px;">健全度 = 部位の評価点 × 部位のコスト配分 ÷ 66</td> </tr> </table> | | 建築 | 設備 | 評価点 | A評価 | 概ね良好 | 20年未満 | 100点 | B評価 | 部分的に劣化 | 20年以上40年未満 | 75点 | C評価 | 広範囲に劣化 | 40年以上 | 40点 | D評価 | 早急に対応する必要がある | 著しい劣化 | 10点 | | 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上 | 電気設備 | 機械設備 | コスト配分係数 | 4.2 | 14.9 | 21.3 | 9.0 | 16.6 | 健全度 = 部位の評価点 × 部位のコスト配分 ÷ 66 |
| | 建築 | 設備 | 評価点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A評価 | 概ね良好 | 20年未満 | 100点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B評価 | 部分的に劣化 | 20年以上40年未満 | 75点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C評価 | 広範囲に劣化 | 40年以上 | 40点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| D評価 | 早急に対応する必要がある | 著しい劣化 | 10点 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上 | 電気設備 | 機械設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト配分係数 | 4.2 | 14.9 | 21.3 | 9.0 | 16.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 健全度 = 部位の評価点 × 部位のコスト配分 ÷ 66 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※RC造：鉄筋コンクリート造、S造：鉄骨造、CB造：コンクリートブロック造、W造：木造



(2) 長寿命化対象施設の整理結果

既存の学校施設（442 棟）を「学校施設の事業手法選定フロー」に基づき整理した結果を以下に示します。

| | 施設数 | 延床面積 |
|-------|-----|------------------------|
| 長寿命化型 | 219 | 205,791 m ² |
| 改築型 | 207 | 10,980 m ² |
| 除却対象 | 16 | 5,559 m ² |
| 計 | 442 | 222,330 m ² |

※施設数・延床面積については、見初小学校屋内運動場（894 m²）を含む。

8-2. 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

長寿命化改修により必要な機能の維持・向上を図りながら、築 75 年程度で改築を行う長寿命型の整備手法で施設の維持・更新を行った場合の今後のコストを算出します。

(1) コスト算出条件

- ・試算期間は令和 8 年度から令和 47 年度の 40 年間とし、除却対象を除く建物を現在と同面積で改築及び改修するものとします。なお、建物ごとの整備方針及び更新周期及び工事別単価は、以下のとおりとします。

■整備方針の判定と更新周期の基本的な考え方

| 判定区分 | | 更新周期（目安）の設定 |
|---------------------|----------|------------------------------------------------------------|
| 長寿命化する建物 （長寿命化型） | 築 40 年未満 | ・築 20 年で中規模改修、築 40 年で大規模改修、 築 60 年で中規模改修、築 75 年で改築を実施 |
| | 築 40 年以上 | ・10 年以内に大規模改修、築 60 年で中規模改修、 築 75 年で改築を実施（築年数により実施内容を検討） |
| 長寿命化しない建物 （改築型） | 築 60 年未満 | ・築 60 年で改築を実施 |
| | 築 60 年以上 | ・随時、改築を実施 |

※中規模改修・大規模改修の実施に当たり、更新周期に合わせて実施できない改修メニュー（建設後、新たに設置した空調機の更新や劣化が著しい部位の緊急改修等）については、劣化状況等を踏まえ、「個別改修」として実施する。

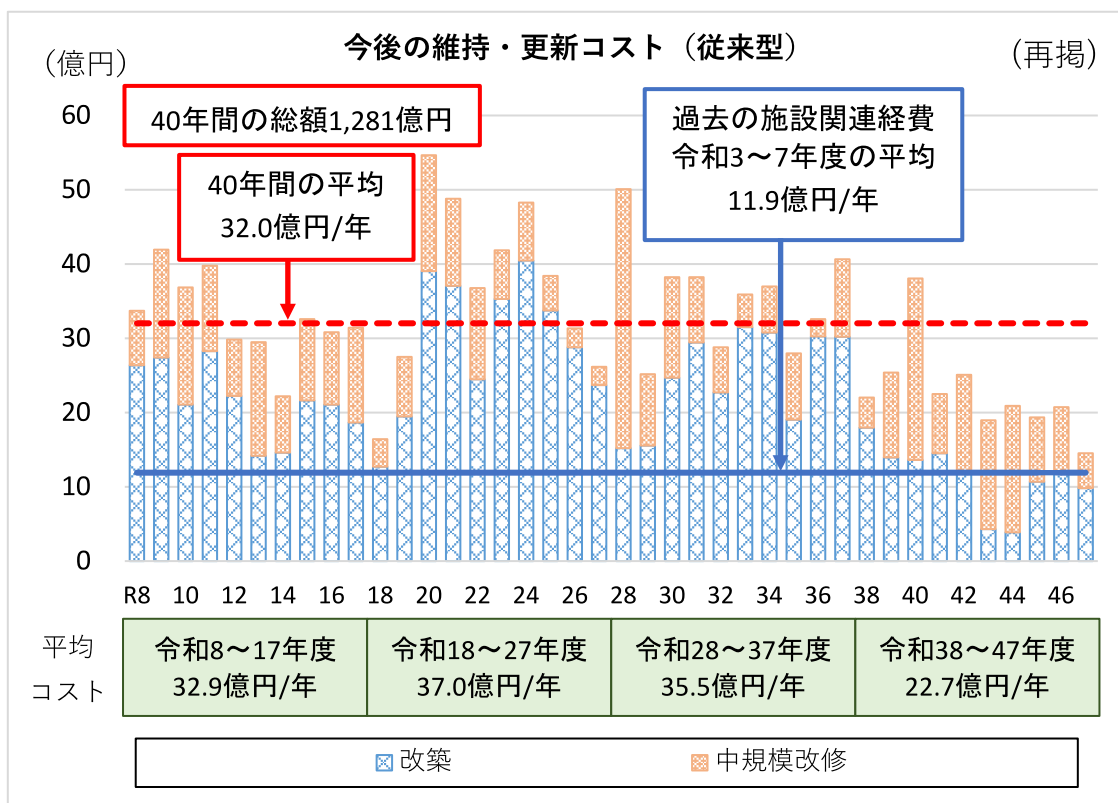
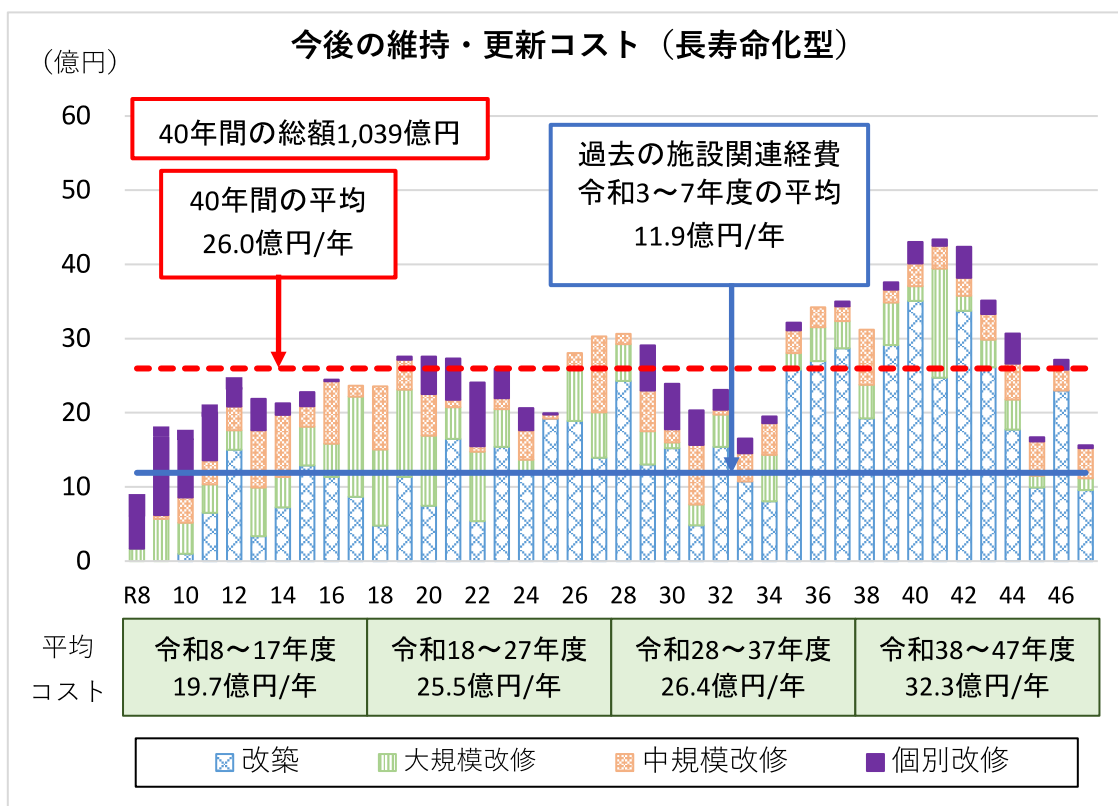
■工事別単価

| | 工種 | 単価（円/㎡） | |
|-------|-------|---------|--------|
| 校舎等 | 中規模改修 | 64,000 | |
| | 大規模改修 | 270,000 | |
| | 改築 | 485,000 | |
| | 個別改修 | 外壁改修 | 30,000 |
| | | 防水改修 | 21,000 |
| | | 設備改修 | 21,000 |
| 屋内運動場 | 中規模改修 | 64,000 | |
| | 大規模改修 | 180,000 | |
| | 改築 | 630,000 | |
| | 個別改修 | 外壁改修 | 30,000 |
| | | 防水改修 | 36,000 |
| | | 設備改修 | 60,000 |

※近年の実績に基づき、上記単価を設定

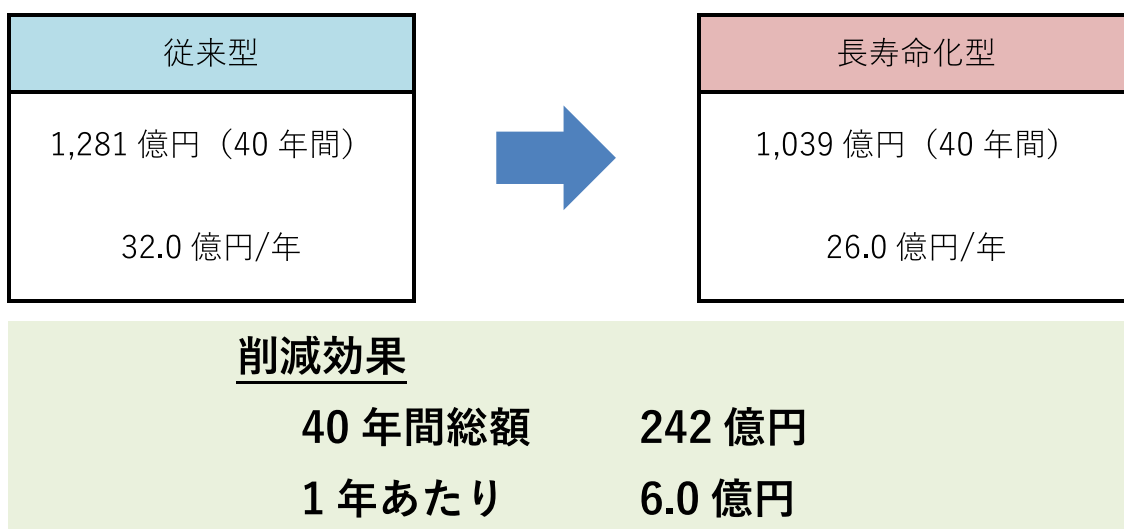
(2) 今後の維持・更新コスト

長寿命化型に移行することにより、今後 40 年間のコストは総額 1,039 億円、年平均で 26.0 億円/年となります。



(3) 長寿命化によるコスト削減効果の検証

学校施設の管理を長寿命化型に移行することにより、従来型に比べて、維持・更新コストを40年間で242億円、1年あたり6.0億円削減することが可能となります。



(4) 今後の課題

引き続き、施設の長寿命化を図りながら、中長期的な維持・更新コストの縮減に努めていきますが、その場合においても、今後40年間のコストは人件費や資材費の高騰等により、年平均で26.0億円/年が見込まれ、過去5年間(令和3年度～令和7年度)の施設関連経費11.9億円/年の約2.2倍になるとの試算が出ています。

8-3. 改修等の優先順位付け

今後、一斉に更新時期を迎える本市の学校施設について、改修等を計画的に実施していくため、優先順位を確認しながら、改修等の実施時期を調整し、維持・更新コストの平準化を図ります。

(1) 優先順位の設定の考え方

一般に建物は経年で劣化が進行するため、建築年が古い建物は、改修等を優先的に検討する必要があります。一方で、建物の劣化は、築年数（経過年数）のみならず建物を取り巻く環境等により、変化するため、以下の視点から優先順位の設定及び改修等の実施時期の調整を行います。

- ・施設の老朽化が進行しているものほど、早急に対応を図る必要があるため、建物の健全度及び築年数を踏まえた「総合劣化度」を用いて、改修の優先度を設定します。
- ・学校を取り巻く環境の変化や児童生徒数の増減に伴う施設の利用状況、学校の適正配置等を考慮した定性的な評価により、実施時期等の調整を行います。
- ・本市の学校の多くは、児童生徒数の増加に合わせて校舎の増改築を行ってきたことにより、同じ学校内で建築年の異なる棟が混在していることから、学校毎に最も適切な単位で改修・更新を進められるよう、各棟の経過年数や老朽化の状況、敷地形状や建物の配置、学校運営上の課題、財政状況などを踏まえながら、実施時期等の調整を行います。

(2) 優先順位の設定方法

指標①：健全度

8-1 (1) で示した「学校施設の事業手法選定フロー」の算出方法を用いて、建物の健全度を算出します。

指標②：築年数

一般に、建物の経年劣化は、修繕では元の性能水準まで回復することができません。

古い建物は、改修等を優先的に検討する必要があるため、築年数の指標は、建築年からの経過年数を1年1ポイントとして算出します。

総合指標：総合劣化度

指標①及び②で算出した結果を基に、現在の建物の健全度や築年数を踏まえた総合指標として、以下の計算式で「総合劣化度」を算出します。

この数値が高いほど、優先的な改修等の対応が必要となります。

$$\text{総合劣化度} = 100 - (\text{指標①：健全度}) + (\text{指標②：築年数})$$

8-4. 今後5年間の実施計画

今後5年間（令和8年度～令和12年度）の実施計画は、基本方針及び優先順位等を踏まえ検討します。対象施設の選定にあたっては、「既に改築が必要な施設のうち、優先度が高い施設」、「健全度がC評価、D評価の部位がある施設のうち、優先度が高い施設」を抽出した上で、優先度の判定は、事業規模や学校の適正配置、財政状況を鑑み設定します。

上記を踏まえ、年間19.7億円程度（10年間で197億円）の事業費を確保した場合の実施計画を策定しました。

■今後5年間のコスト計画（百万円）

| 実施事業 | | 実施年度 | | | | | 計 |
|------------------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | |
| 改築 | | 0 | 0 | 100 | 650 | 1,500 | 2,250 |
| 長 寿 命 化 | 大規模改修 | 189 | 556 | 396 | 387 | 263 | 1,791 |
| | 中規模改修 | 0 | 48 | 308 | 299 | 322 | 977 |
| | 個別改修 | 84 | 276 | 208 | 182 | 50 | 800 |
| | 機能向上 | 607 | 888 | 694 | 579 | 321 | 3,089 |
| 合計 | | 880 | 1,768 | 1,706 | 2,097 | 2,456 | 8,907 |

■ 予定事業一覧（床面積 200 m²を超えるもの）

| 実施年度 | 事業手法 | | 学校名 | 建物名 | 棟番号 | 延床面積 (m ²) | |
|----------|----------|-------|---------|---------|-------------|------------------------|-------|
| R8 | 長寿命化 | 大規模改修 | 外壁改修 | 川上小学校 | 教室特別教室棟 | 1-1,1-2,1-3 | 2,856 |
| | | | 外壁改修 | 黒石中学校 | 管理教室特別教室棟 | 1 | 4,059 |
| | | | 防水改修 | 川上小学校 | 管理特別教室棟 | 2 | 1,630 |
| | | | | 桃山中学校 | 特別教室棟 | 22 | 718 |
| | | | | 黒石中学校 | 管理教室特別教室棟 | 1 | 4,059 |
| | | 個別改修 | 空調更新 | 上宇部小学校 | 管理特別教室棟 | 33,34 | 2,933 |
| | | | | 藤山小学校 | 管理教室棟 | 1-1,1-2 | 1,435 |
| | | | | 常盤小学校 | 管理特別教室棟 | 5 | 2,315 |
| | | | | 東岐波中学校 | 管理特別教室棟 | 14-2 | 1,858 |
| | | | | 東岐波中学校 | 教室棟 | 21 | 769 |
| | | | | 西岐波中学校 | 管理特別教室棟 | 14-1,14-2 | 2,044 |
| | | | | 藤山中学校 | 管理教室棟 | 17 | 1,265 |
| | | | | 厚南中学校 | 管理教室棟、特別教室棟 | 8-1,8-2,8-3 | 2,869 |
| | | 川上中学校 | 教室特別教室棟 | 1 | 1,673 | | |
| | | 機能向上 | 空調設置 | 西岐波中学校 | 普通教室棟 | 12 | 2,055 |
| | 神原中学校 | | | 教室特別教室棟 | 30 | 1,468 | |
| | LED化 | | 東岐波小学校 | 校舎 | — | — | |
| | | | 西岐波小学校 | 校舎 | — | — | |
| | | | 恩田小学校 | 校舎 | — | — | |
| | | | 見初小学校 | 校舎 | — | — | |
| | | | 琴芝小学校 | 校舎 | — | — | |
| | | | 厚南小学校 | 校舎 | — | — | |
| | | | 小野小学校 | 屋内運動場 | — | — | |
| | | | 小羽山小学校 | 屋内運動場 | — | — | |
| | | | 川上小学校 | 校舎 | — | — | |
| | | | 黒石小学校 | 校舎 | — | — | |
| | | | 東岐波中学校 | 校舎 | — | — | |
| | | | 上宇部中学校 | 校舎 | — | — | |
| | | | 神原中学校 | 校舎 | — | — | |
| | 川上中学校 | 校舎 | — | — | | | |
| 黒石中学校 | 校舎、屋内運動場 | — | — | | | | |
| 多目的トイレ設置 | 川上小学校 | 校舎 | — | — | | | |

| 実施年度 | 事業手法 | | 学校名 | 建物名 | 棟番号 | 延床面積(m ²) | |
|----------|--------|--------|-------|--------|-----------------|-----------------------|-------|
| R9 | 長寿命化 | 大規模改修 | 外壁改修 | 川上小学校 | 管理特別教室棟 | 2 | 1,630 |
| | | | | 船木小学校 | 管理普通特別教室棟 | 13 | 3,881 |
| | | | | 桃山中学校 | 特別教室棟 | 22,23 | 1,669 |
| | | | | 川上中学校 | 管理特別教室棟 | 3-1 | 1,401 |
| | | | | 黒石中学校 | 管理教室特別教室棟 | 1 | 4,059 |
| | | | 防水改修 | 川上小学校 | 屋内運動場、クラブハウス | 3-1,3-2 | 1,146 |
| | | | | 黒石小学校 | 屋内運動場 | 1-4 | 938 |
| | | | | 吉部小学校 | 屋内運動場 | 12 | 1,444 |
| | | | | 桃山中学校 | 特別教室棟 | 23 | 951 |
| | | | 中規模改修 | 防水改修 | 西岐波中学校 | 教室棟 | 12 |
| | | 西岐波中学校 | | | 管理特別教室棟、管理棟、教室棟 | 14-1,14-2,14-3,19 | 3,163 |
| | | 厚南中学校 | | | 教室棟 | 17 | 1,225 |
| | | 個別改修 | 空調更新 | 見初小学校 | 管理特別教室棟 | 26 | 2,042 |
| | | | | 琴芝小学校 | 管理特別教室棟 | 23-2 | 1,050 |
| | | | | 厚南小学校 | 管理特別教室棟 | 44 | 1,518 |
| | | | | 二俣瀬小学校 | 管理特別教室棟 | 16 | 983 |
| | | | | 小羽山小学校 | 管理教室棟 | 1-1,1-2 | 2,551 |
| | | | | 黒石小学校 | 管理教室特別教室棟 | 1-1 | 4,685 |
| | | | | 船木小学校 | 管理普通特別教室棟 | 13 | 3,881 |
| | | | | 常盤中学校 | 管理特別教室棟 | 3 | 1,935 |
| | | | | 上宇部中学校 | 管理特別教室棟 | 34 | 1,915 |
| | | | | 神原中学校 | 管理特別教室棟 | 28-1 | 1,746 |
| | | | | 桃山中学校 | 管理特別教室棟 | 13 | 1,388 |
| | | | | 黒石中学校 | 管理教室特別教室棟 | 3-1 | 811 |
| | | | | 楠中学校 | 管理普通特別教室棟 | 12 | 2,112 |
| | | | | 楠中学校 | 特別教室棟 | 19 | 451 |
| | | | | トイレ改修 | 小中学校 12校 | 校舎 | — |
| | | 機能向上 | 空調設置 | 小学校 7校 | 屋内運動場 | — | — |
| | | | | 中学校 2校 | 屋内運動場 | — | — |
| | | | LED化 | 上宇部小学校 | 屋内運動場 | — | — |
| | | | | 厚東小学校 | 校舎 | — | — |
| | | | | 二俣瀬小学校 | 校舎 | — | — |
| | | | | 小野小学校 | 校舎 | — | — |
| | | | | 西宇部小学校 | 屋内運動場 | — | — |
| | | | | 吉部小学校 | 校舎 | — | — |
| | | | | 船木小学校 | 校舎 | — | — |
| 川上中学校 | 屋内運動場 | | | — | — | | |
| 楠中学校 | 校舎 | | | — | — | | |
| 厚東川中学校 | 校舎 | | | — | — | | |
| 多目的トイレ設置 | 西宇部小学校 | | 屋内運動場 | — | — | | |

| 実施年度 | 事業手法 | | 学校名 | 建物名 | 棟番号 | 延床面積 (㎡) | |
|------|-----------|-----------|--------------------------|-----------|---------------------|-----------------------|-------|
| R10 | 改築 | | 藤山中学校区 施設一体型 小中一貫校 | 校舎改築 1 期 | — | — | |
| | 大規模 改修 | 外壁 改修 | 船木小学校 | 管理普通特別教室棟 | 13 | 3,881 | |
| | | | 黒石小学校 | 屋内運動場 | 1-4 | 938 | |
| | | | 黒石中学校 | 管理教室特別教室棟 | 1 | 4,059 | |
| | | 防水 改修 | 黒石小学校 | 管理教室特別教室棟 | 1-1 | 4,685 | |
| | | | 万倉小学校 | 屋内運動場 | 12-1 | 923 | |
| | | | 東岐波中学校 | 教室棟 | 21 | 769 | |
| | | | 黒石中学校 | 屋内運動場 | 2-2 | 1,076 | |
| | | | 黒石中学校 | 管理教室特別教室棟 | 3-1,3-2,3-3 | 1,506 | |
| | | 楠中学校 | 技術室、特別教室棟 | 18,19 | 588 | | |
| | | 中規模 改修 | 外壁 改修 | 恩田小学校 | 管理室特別教室棟、 普通教室棟 | 1-1,1-2, 1-3,1-5 | 3,516 |
| | | | | 厚南小学校 | 特別教室棟 | 20 | 807 |
| | | | | 西岐波中学校 | 管理特別教室棟、 管理棟、教室棟 | 14-1,14-2, 14-3,19 | 3,163 |
| | | | | 常盤中学校 | 管理特別教室棟 | 3 | 1,935 |
| | | | 防水 改修 | 東岐波小学校 | 普通教室棟 | 12 | 655 |
| | 東岐波小学校 | | | 特別教室棟 | 15 | 422 | |
| | 厚南中学校 | | | 普通特別教室棟 | 23 | 2,460 | |
| | 個別 改修 | 空調 更新 | 東岐波小学校 | 管理普通特別教室棟 | 21 | 2,150 | |
| | | | 西岐波小学校 | 管理特別教室棟 | 30 | 1,635 | |
| | | | 厚東小学校 | 管理棟 | 23 | 727 | |
| | | | 厚東小学校 | 多目的スペース | 24 | 180 | |
| | | | 小野小学校 | 管理特別教室棟 | 16 | 2,399 | |
| | | | 西宇部小学校 | 管理特別教室棟 | 3 | 2,495 | |
| | | | 川上小学校 | 教室特別教室棟 | 1-1 | 2,450 | |
| | | | 川上小学校 | 管理特別教室棟 | 2 | 1,630 | |
| | | | 吉部小学校 | 管理普通特別教室棟 | 14 | 1,733 | |
| | | 厚東川中学校 | 管理普通特別教室棟 | 10 | 1,654 | | |
| | | 電気 改修 | 上宇部中学校 | — | — | — | |
| | | トイレ 改修 | 小中学校 12 校 | 校舎 | — | — | |
| | | 機能 向上 | 空調 設置 | 小学校 6 校 | 屋内運動場 | — | — |
| | 中学校 3 校 | | | 屋内運動場 | — | — | |
| | LED 化 | | 川上小学校 | 屋内運動場 | — | — | |
| | | | 黒石小学校 | 屋内運動場 | — | — | |
| | | | 恩田小学校 | 屋内運動場 | — | — | |

| 実施年度 | 事業手法 | | 学校名 | 建物名 | 棟番号 | 延床面積 (㎡) | |
|------|------------------|-----------|--------------------------|-------------------|--------------------------------|-----------------------|-------|
| R11 | 改築 | | 藤山中学校区 施設一体型 小中一貫校 | 校舎改築 2 期 | — | — | |
| | 長 寿 命 化 | 大規模 改修 | 外壁 改修 | 黒石小学校 | 管理教室特別教室棟 | 1-1 | 4,685 |
| | | | | 黒石小学校 | 屋内運動場 | 1-4 | 938 |
| | | | | 万倉小学校 | 屋内運動場、 クラブハウス | 12-1,12-2 | 1,260 |
| | | | | 東岐波中学校 | 教室棟 | 21 | 769 |
| | | | | 黒石中学校 | 屋内運動場 | 2-2 | 1,076 |
| | | | | 黒石中学校 | 管理教室特別教室 棟、クラブハウス、 クラブ部室 | 2-1,3-1, 3-2,3-3 | 2,342 |
| | | | | 楠中学校 | 技術室、特別教室棟 | 18,19 | 588 |
| | | 防水 改修 | 船木小学校 | 管理普通特別教室棟 | 13 | 3,881 | |
| | | 中規模 改修 | 外壁 改修 | 恩田小学校 | 管理室特別教室棟、 普通教室棟 | 1-1,1-2, 1-3,1-5 | 3,516 |
| | | | | 西岐波中学校 | 管理特別教室棟、 管理棟、教室棟 | 14-1,14-2, 14-3,19 | 3,163 |
| | | | | 上宇部中学校 | 教室棟、昇降口棟 | 31,32 | 1,579 |
| | | | | 上宇部中学校 | 特別教室棟 | 36 | 693 |
| | | | 防水 改修 | 西岐波小学校 | 特別教室棟、 普通教室棟 | 26,27 | 2,646 |
| | | | | 厚南小学校 | 特別教室棟 | 20 | 807 |
| | 東岐波中学校 | | | 普通教室棟、 管理特別教室棟 | 14-1, 14-2,14-3 | 3,315 | |
| | 個別 改修 | 電気 改修 | 西岐波小学校 | — | — | — | |
| | | | 常盤中学校 | — | — | — | |
| | | トイレ 改修 | 小中学校 12 校 | 校舎 | — | — | |
| | 機能 向上 | 空調 設置 | 小学校 7 校 | 屋内運動場 | — | — | |
| | | | 中学校 1 校 | 屋内運動場 | — | — | |

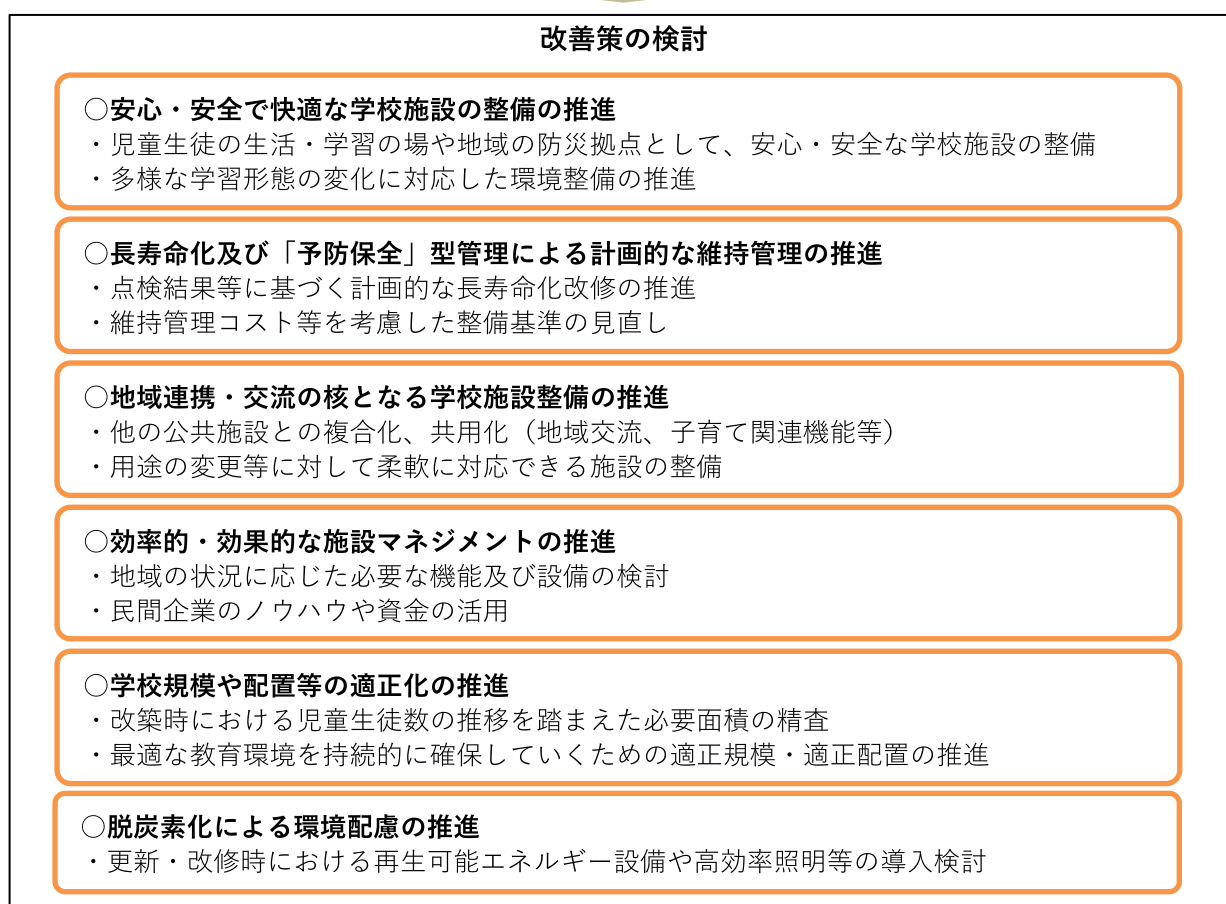
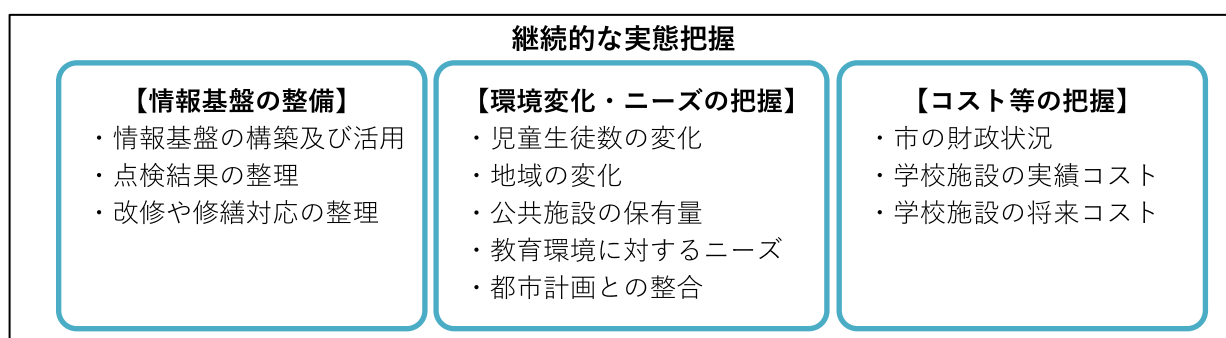
| 実施年度 | 事業手法 | | 学校名 | 建物名 | 棟番号 | 延床面積 (㎡) | |
|------|------------------|-----------|--------------------------|----------|------------------------|---------------------|-------|
| R12 | 改築 | | 藤山中学校区 施設一体型 小中一貫校 | 校舎改築 3 期 | — | — | |
| | 長 寿 命 化 | 大規模 改修 | 外壁 改修 | 黒石小学校 | 管理教室特別教室棟 | 1-1 | 4,685 |
| | | | | 川上中学校 | 特別教室棟 | 4 | 447 |
| | | | | 黒石中学校 | 管理教室特別教室棟、クラブハウス、クラブ部室 | 2-1,3-1, 3-2,3-3 | 2,342 |
| | | 中規模 改修 | 外壁 改修 | 西岐波小学校 | 特別教室棟、普通教室棟 | 26,27 | 2,646 |
| | | | | 原小学校 | 管理教室棟 | 1 | 1,815 |
| | | | | 西宇部小学校 | 管理特別教室棟 | 3 | 2,495 |
| | | 個別 改修 | 電気 改修 | 西岐波中学校 | — | — | — |
| | | | | 厚東川中学校 | — | — | — |
| | | 機能 向上 | 空調 設置 | 中学校 3 校 | 屋内運動場 | — | — |
| | | | | | | — | — |

第9章 計画の継続的運用

9-1. 学校施設マネジメントに向けた検討フロー

今後も児童生徒数の継続的な減少が見込まれる中で、学校施設の保有のあり方、維持・更新コストの削減及び財源確保が大きな課題となります。こうした状況において、最適な教育環境を確保していくためには、個々の学校施設の長寿命化だけでなく、学校規模や地域と学校の実状に合わせた適正な配置、運営面・活用面等について、多面的な視点に立った改善策の検討が必要です。

そのため、以下のように、学校施設マネジメントの仕組みの構築を進めます。

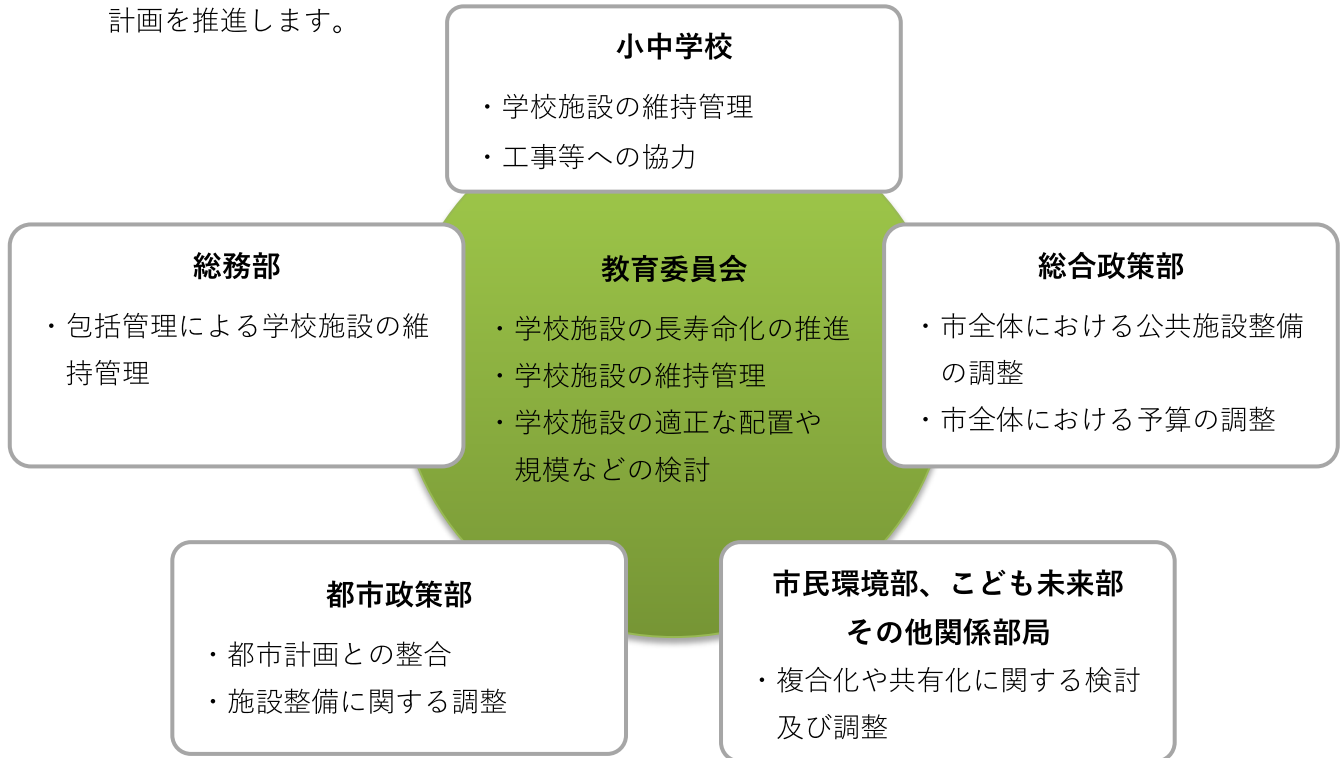


市や地域の状況に応じた柔軟な学校施設マネジメント

9-2. 推進体制等の整備

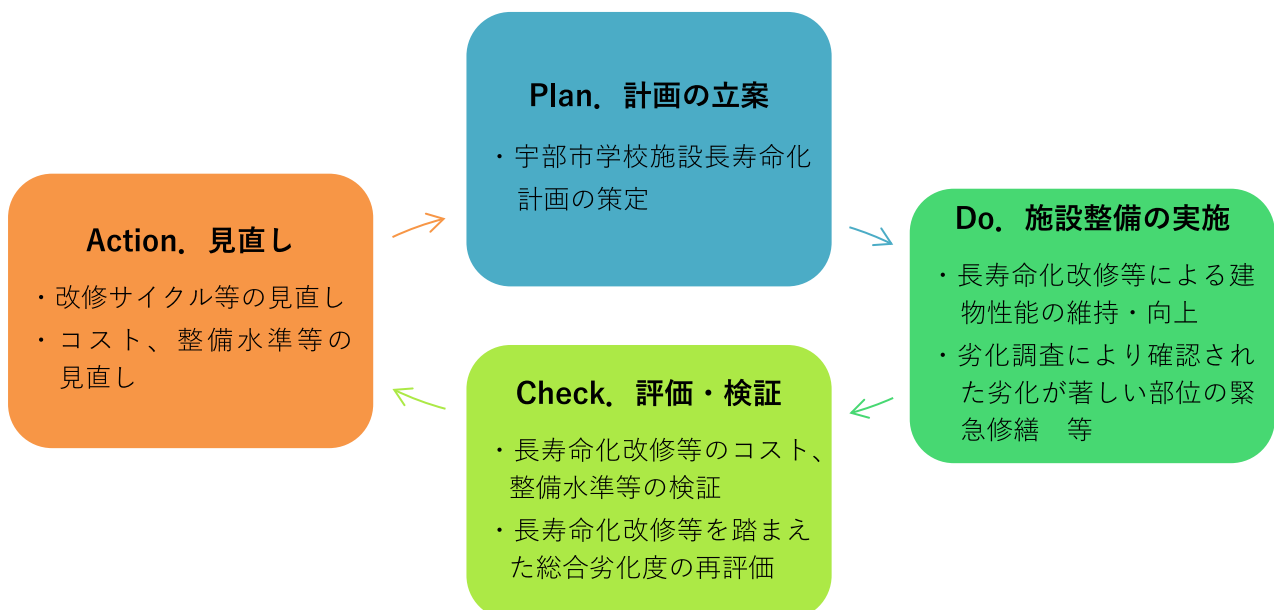
本計画に基づき、適切な学校施設マネジメントを推進するためには、教育委員会や学校だけでなく、施策面や財政面などの公共施設マネジメントに関係する市長部局等との連携が不可欠です。

このため、関係部署との連携・調整を図り、公共施設等総合管理計画との整合に努めながら計画を推進します。



9-3. フォローアップ

本計画に基づいた学校施設整備を進めていくため、PDCA サイクルによる進行管理を行います。計画内容については、概ね5年ごとに見直しを行うこととしますが、市全体の財政計画や事業の進捗状況、施設の劣化状況、人口減少等の社会情勢の変化を踏まえながら、必要に応じて適宜見直しを行います。



用語解説

か 行

| | |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校運営協議会 | 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、学校と地域が一体となった学校づくりを進めるために設置される機関。学校、保護者、地域住民などが委員となり、学校運営、学校支援、学校評価について協議を行う。 学校運営協議会を設置した学校を「コミュニティ・スクール」という。 |
| 旧耐震基準 | 1981年（昭和56年）5月31日までに建築確認を受けた建物に適用された耐震基準で、震度5強程度の地震で倒壊しないことを目標としている。 |
| 高効率照明 | 蛍光灯を大幅に上回る発光効率を有し、少ない電力で十分な明るさを実現する照明技術のこと。LED照明などがある。 |
| 構造躯体 | 建物の主要な構造体、または骨組みのこと。 |
| コンクリート圧縮強度 | コンクリートを圧縮したときにどれだけの力に耐えられるかを示す指標。日本建築防災協会の耐震診断基準等では、 13.5N/mm^2 （ニュートン平方ミリメートル）を下回る場合に耐震補強の対象外としている。 |
| コンクリートの中性化 | 大気中の二酸化炭素がコンクリート中に侵入し、表面部分から、コンクリートをアルカリ性から中性に変えていく現象。中性化が進行するとコンクリート内の鉄筋が腐食し、コンクリートのひび割れや剥離につながる。 |

さ 行

| | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 再生可能エネルギー設備 | 太陽光・風力・水力・地熱・バイオマスなどの自然エネルギーを利用した発電設備のこと。 |
| 事後保全 | 老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。 |
| 新耐震基準 | 1981年（昭和56年）6月1日以降建築確認を受けた建物に適用されている耐震基準で、震度6～7程度の大地震でも倒壊しないことを目標としている。 |

た 行

| | |
|---------------------|------------------------------------------------------|
| 耐震診断 | 既存の建築物の耐震性能を調べ、想定される地震に対する安全性や受ける被害の程度を判断するもの。 |
| 耐用年数 | 建物がどの程度の期間使用できるのかを示す指標。 |
| 多目的トイレ （みんなのトイレ） | 車椅子使用者やオストメイト（人工肛門・人工膀胱保有者）の方など多様な人々が快適に利用できるトイレのこと。 |
| 長寿命化 | 建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。 |

は 行

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| バリアフリー化 | 高齢者や障害者を含む多様な人々が社会に参加する上で障壁となるものを取り除き、誰もが安全かつ快適に生活できる社会を実現するための取組のこと。建物のバリアフリー化の例としては、スロープやエレベーターの設置、多目的トイレの整備、広い出入口や通路の確保等がある。 |
| 複合化 | 異なる機能・用途の建物を1つに集約して整備すること。 |
| 法定点検 | 各種法令に基づき、実施することが義務付けられている点検。代表的なものとして、建築基準法第12条に基づく点検等がある。 |

や 行

| | |
|------------|-------------------------------------------------------------------|
| ユニバーサルデザイン | 「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害などの有無にかかわらず、誰もが最初から利用しやすい施設や製品等を設計する考え方。 |
| 予防保全 | 損傷が軽微である早期段階から、機能・性能の保持・回復を図るために修繕等を行う、予防的な保全のこと。 |

ら 行

| | |
|------------------|------------------------------------------------|
| ライフサイクルコスト (LCC) | 建設に係る初期コストだけでなく、維持管理や改修・廃棄に必要なコスト全てを含めたコストのこと。 |
|------------------|------------------------------------------------|